

GOVERNORS LETTER

*Ikira
Kaizumi*



地区ニュース



We Serve

1988~1989 No. 1

333-C地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、ライオニズム永遠の発展に寄与するため、会員の総意を結集し、ここに地区ライオンズ憲章を制定して、その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは積極的参加の意欲であることを理解し指導力の開発にはげよう。

目 次

御挨拶(ガバナー).....	3
国際会長就任演説.....	5
本年度の抱負と方針.....	10
第1回キャビネット会議.....	27
YE NEWS.....	30
LEO, LS NEWS.....	31
ACT NEWS.....	32
CAB NEWS.....	34
333複合地区ニュース.....	35



We Serve

御 挨拶

ライオンズクラブ国際協会333-C地区

地区ガバナーL. 小泉 昭

去る6月22日～7月4日に亙り渡米、シカゴのライオンズクラブ国際協会（以下LCI）を訪問、次いでコロラド州デンバーに於ける第71回国際年次大会に出席のうえ、ガバナーとしての研修を終了し、同時にLCI333-C地区ガバナーに就任いたしました。何分にも未熟ではありますが、地区構成員各位並びに各ライオンズクラブ、及び諸関係の皆様方のご協力を得て、職責遂行に最善を尽くす存念であります。宣しく御支援御鞭撻下さるようお願い申し上げます。

以下、三役スクール、キャビネット構成員研修会等に示しました新年度ガバナー指針と摺り合せ、国際会長以下、LCI幹部の講話、専門部門担当者の説明、ガバナーエレクトグループセッション等の状況を通し、その要約につきご報告いたしたいと存じます。

高めよう 心豊かに L字の誇り

端的に申し上げて、LCIは大胆な改革指向を提示しているものと受止めました。それは、政治的、経済的等々を始めとして、世界的変革期の中でライオンズクラブといえども、直面する現実に対応する努力を用い、大きく意識の転換が求められなければならない、とする点であります。

ライオンズのモットーである「We Serve」の基本理念を、更に更に高揚に努めなければ、ライオンズといえども将来衰退しないという保障はない。取り様によっては一種の危機感さえ漂わすスピーチを多く耳にしました。

1990年を一応の目処に、LCI改革路線をまとめ上げたい、という姿勢をも感じました。その一環として、民間のリサーチ機関にも依頼して、ライオンズの今後の進路決定の資料作りに懸命の努力を重ねている状況ということでありました。その中で、ライオンズ入会招請対象となる若年層に意識調査を試みたところ「誇りを持てる団体でなければ入会しない」という結果が多く目立ったということでもあります。『メンバー意識の高揚』こそが第一義であるという結論であります。



概略申し上げましたが、本年度国際会長方針は、個々のメンバーに対する従来の訓導方式から脱却して、大胆な発想を追求しつつ、本来ライオンズの原点である「We Serve」一本主義であることは、本年度LCIシンボルマークの示す通りであります。メンバー各位に於かれましても、大いに議論を興し、勇気ある提言を期待される所であろうと思います。

会員増強とゼロ・ドロップアウト

ご承知の如く、新クラブのEXTは簡単に達成出来る時勢ではなくなりつつあります。すべて団体の騰勢は、新規加入の促進によって進展が望まれることは言うまでもなく、ライオンズクラブにおいてもその努力を継続して行かなければならないことは自明の理であります。然しながら、発展を続けて来た経緯を振り返る時、無限に新規結成を夢見ることは困難であるという現実をも直視しなければなりません。但しそれを座視して良いものでもないことも言を要さないところであります。EXTは望



We Serve

み薄、会員増強は思うに任せず、ということになれば、その先は言うをまたず、とんりかねません。短絡的に「量より質」を言う前に、新会員の獲得、特に若年層の開拓、導入に意を注ぎ、会員増強に依るクラブの活性化に格段のご努力をお願いしなければなりません。

更には、有能な現メンバーの退会防止に努めることであります。たゞ退会防止と短絡的な表現によってそれを達成することは出来ません。そのためには、会員にとって魅力あるクラブとはどんなものか、について検討することから始めなければならぬ筈です。退会の原因となるクラブ運営の問題点を再点検する努力をお願いしなければなりません。

本年度重点項目を、クラブ会員純増とさせていたゞきます。期せずして先に提示したガバナー指針の二点について、LCI執行部と考え方の一致を見たことに安堵を覚えると共に、勇断をもって実行に努力いたします。

奉仕活動に於ける地域社会感の変化

今回のLCI地区ガバナーエレクトセミナーに於て、大きな変化を感ずることが有りました。地域社会への奉仕活動をもって本義とする、従来のアクテビティ指標の微妙な変化現象であります。従来からの積重ねを忘れてはならず、クラブの自主性の尊重は当然としながらも、「ライオンズクラブの奉仕活動は、人類愛に基き、アクテビティの地域社会感覚から世界観に通ずるものに引上げる努力を」という表現。「奉仕活動において、他の地域との連けいを」という説明。果ては「地域社会とは地元という意味ではない」と言い切る説明者。これらは、何を意味することになりましょうか。当然、日本ガバナーエレクトグループから、従来のローカルサービス指導から、余りにも飛躍したアクテビティ指標と、ライオンズ必携に示される方向づけとの成合性についての質問が出されましたが、明快な納得ある結論とはならず、説明を聞くにとゞまりました。今後論議の対象となる事でしょう。或は近い将来、ライオンズ必携アクテビティ指標の変更予告であるのかも知れません。刮目すべき現象として心に残りました。

LCIF事業への強烈な推進策と思ひ合せ、わが地区に於て、合同ACT研究委員会が新設されたことも時宜

に即した方針とっております。

勇気ある討論集会の奨め

新年度発足に先立ち私は、本年度指針の一つに“話し合いの強調”を訴えました。前述の如く、LCIの改革路線の中に於て、ライオンズクラブのマンネリ化を排除するため、勇気ある提言が求められております。地区運営サイドにおいて、それを求めることは、言うは易く、現実的には機会導入の面で多少のむづかしさを感じますが、いろいろの機会を促えてその姿勢を強調して参りたいと考えます。各クラブに於ても、実りある議論を展開され、クラブの活性化、ライオンズクラブの発展策に意を注いでいただきたいと思ひます。

地区に於ても、それぞれの懸案を抱える事項。各クラブメンバーの関心事等を取り上げ、担当委員長を中心に討論会を催し、地区会報に掲載して、皆様方のご参考の一助に資する企画を考えております。その結果のご批評、ご感想等を歓迎し、メンバー全員の参加意識を高めたいと思っております。

地区健全財政への取組み

次に、キャビネット運営面に於て、早々と地区財政問題についてご斟酌をお願いいたしたところではありますが（三役スクール・キャビネット構成員研修会資料参照）構成員各位、クラブ役員諸候のご理解のもと、施策を構じつゝあります。予算案につきましても、その反映されるところにご納得を求め、今後の健全財政の基を構じたい所存であります。

お見苦しい駄文をもって、所見並に状勢のご参考に資したいと存じますが、もとより、ライオンズクラブの健全なる強化向上を図り、地区の繁栄に、いさゝかの貢献を念ずるものであります。意のあるところをお汲取りいたゞき、皆様方の経験豊富な英知とご理解により、格別の御協力をお願い申し上げご挨拶といたします。



We Serve

国際会長就任演説

ライオンズクラブ国際協会

会長 AUSTIN P. JENNINGS

スティーブンソン前会長、国際理事会メンバー、元国際会長、ライオンズ、ライオネス、レオ、その他のゲスト各位：

本日は私個人にとりまして、なんといっても最も意義深い日であります。就任の宣誓をすることは頂点到達でもあり、出発点でもあります。頂点到達であるのは、第三副会長に当選以来、この瞬間のために3年間準備してきたからです。同時に始まりでもあります。私は今、私自身のために新しい目標を定め、この偉大な国際協会を世界で最も活発、かつ最も尊敬される奉仕組織にならしめた人道主義的理想とそのプログラムを、さらに広めていこうとしているからです。

私の人生でこの時点に達することができたのは多くの方々のお陰です。家内のカーミン、娘のバーバラと息子のマイケル、そしてその家族たちは私がライオンズクラブ国際協会の役員としてますます大きな責任を負っていくにあたり、常に多大な支持と激励を与えてくれました。そして12複合地区……誇り高きテネシー州……のライオンズクラブには特に深く感謝致します。この方々は協会役員としての私の任務遂行に快く協力してくれ、暖かい友情を示してくれ、そして私の高い理想を理解してくれました。

これからの1年には挑戦と報いの両方が待っています。挑戦とは、力を合わせ、国際社会における人類の必要性にこたえることに私たちの注意を集中させて、私たちの可能性をフルに伸ばすことです。第一に、現状を見きわめ、それに対して取るべき進路を定めます。そして特定の目標達成に大成功を収めるため、その進路をたどっていくのです。この挑戦を受け入れたために協会が強化されたこと、そして私たちが団結して取り組んだ奉仕の分野で老若男女、多くの人々がより良き生活をしていること、これがその報いなのです。

協会の長期計画委員会は既にこの点で大飛躍をいたしました。同委員会はこの2年間に、21世紀に入った時に世界はどう変わっているか、そして、その新しい時代に



ボランティア組織はいかにして適応できるか、ということ深く研究したのです。

皆さん、今年……そしてその後の何年間にも……「われわれは奉仕する」の哲理に巨大な挑戦が投げかけられます。ライオンズクラブ国際協会が特に強調しようとする特定の奉仕活動を成功させるばかりではなく、さらにボランティア活動の世界で将来性のある活発な組織として生存するためにはこの挑戦を受け入れなければなりません。そして、「当然生存できるもの」と軽くみるべきではありません。

哲学者で牧師であるジョン・ヘンリー・ニューマンが「生きることは変わることであり、完全であることは度々変わったということである」と言いました。それを繰り返すかのように、科学者のチャールズ・ケタリングは「変化は進歩をもたらす唯一のものである」と言いました。この二人が言ったことは真実だと思います。しかし残念なことに、ロシアの偉大な作家ドストエフスキーが言った「変化は、人間が最も恐れているものである」とい



We Serve

うことも真実と思います。変化は何語でも大きな意味を持っています。

変化 CHANGE……LE CHANGEMENT……MUUTOS
……KAMBIO……FORANDRING……HEN-KA.

変化の必要性を認めない結果は破壊的であるかもしれず、少なくとも進歩がありません。その例は沢山あります。飛行機の利用が将来盛んになり、空の旅が海の旅に代わることを予測できなかった船会社がどうなったか考えてみて下さい。巨大な汽船は起こりつつあった変化に気づかなかつたのです。それに対処するよう進路を変えず他の交通機関に投資することも考えなかつたのです。その結果、船舶業は大衰退を経験し、豪華な汽船時代は終わり、飛行機がそのあとを継いだのです。同様に大型自動車の製造業者は小型車が人気を呼ぶことになるとは信じませんでした。現在、大型車のマーケットは縮まり、資本金は減少し、高い失業率をみえています。何年もの間、世界各地の政府や君主国も頑固に社会変化を拒否し、その結果、戦争や革命が起きました。これらの政府も消えていったのです。

ニューヨーク株式取引所所長のジョン・フィーランは最近「人々は変化を恐れているので変化を好まない。しかし変化を抑えれば革命が起こるが、変化に合わせて進めば統制できる進化が起こる」といいました。

皆さん、変化に対応できるかが往々にして成功と失敗の違いであり、これがビジネスや政府において本当ならライオンズにもあてはまります。変化は確かに重要な言葉です。

変化……MOODANSA……DIE ANDERRUNG……
BYUN-GYUNG……CAMBIAMENTI.

ライオンズクラブ国際協会は世界で最も顕著な奉仕クラブ組織に成長しました。長年の間会員たちは人道主義的奉仕に献身を続けてきました。私たちのプログラムは堅実で、自信を持って将来に向かうことができます。しかしその将来はどういうものでしょう。

将来というものは油断ならぬものです。社会やクラブはどんな変化に直面するのでしょうか。それに対応できますか。これが今私たちの前にある課題です。個々の会員として、クラブとして、国際協会として、生活様式や考え方や世界社会の必要性に関して社会の変化に無理なく対応していけるのでしょうか。

私は申し上げます。対応しなくてはいけないのです。

台北における昨年の大会では私たちは女性の入会を認めることに決めました。この変化は必要なものであり、それゆえに協会はさらに強力になるのです。多くのクラブは奉仕をしたいという願いには性別がないということを見ました。何千人もの女性が現在ライオンズクラブで献身的に活躍しています。しかし、奉仕活動の面や会員増強の分野でも変化が必要になっています。

特に、重要なことに、私たちは協会の名前にある「国際」という言葉の意味をもっと理解しようと努めており、自分たちの国境を越えて、他のライオンズとも手をたさえて全人類の生活向上を図る事業実施の観念を重視するようになってきました。これが協会の機構を強化し、協会の名声を高めるためのおもな使命なのです。私たちの考え方において、行動において、そしてこれから何年もお互いの資源力を動員して人類奉仕を続けるために国際的にならなければならないのです。そして世界情勢が変わるとき、ライオンズクラブ国際協会も変わる用意をしているべきです。必要である時にはプログラムを変え、新しいものを採り入れ、やり方を変え、他の進路を定め、新しい道を探検して、変化する情勢に合わせてみましょう。過去の栄光に浴しながらのんびりとすわりこみ、違う方法でやることを拒否したのでは世界は私たちの目前を通り越していくでしょう。変化する世界情勢に対応するために私たちがますます多く使っている手段はライオンズクラブ国際財団です。LCIFは、事実、世界社会に対する私たちの責任を果たす方法の主なものです。「われわれは奉仕する」の信条に基づいて、種々の事業実施に励むライオンズを援助するため、毎年何百万ドルもの資金が交付されています。そしてライオンズムの国際的目的を理解する会員たちの寛大さのお陰でもっと多くの資金がLCIFから交付されるようになるのです。しかしLCIFも変わっており、大規模なライオンズ事業を援助するようになってきました。そして勿論、協会の国際プログラムも支持して援助金を交付しています。財団の可能性には限りがありません。世界中の人々の暮らしを大いに変えることができるのであり、この可能性を認識するとき、常に変化する世界で活動する意をLCIFが固めていることを理解すれば、私たちは同時に新しい情勢に合わせて順応していくことにも成功するでしょう。



We Serve

メルビン・ジョーンズ・フェロー・プログラムは、正に人道主義的成功談のひとつです。世界中のライオンズの協力のお陰で、財団20周年を記念してフェローの数を2万人に、という目標達成が実現するに違いありません。しかしこれは単なる第一歩にすぎません。全ライオンズが献金会員になったとき、そして全クラブが少なくとも、ここで少なくともということ強調しますが、一人のメルビン・ジョーンズ・フェローを出せばL C I Fは世界で先頭に立つ人道主義的財団になれるのです。私たちは今、国際ライオニズムの援助の手をさらに広げていくための真の力を発揮し始めたばかりなのです。私たちは将来に目を向け、将来のために計画を立てなければなりません。なぜなら、ついこの間、まだ遠い先の問題と思えた問題を目の前にしているからです。

そのひとつは会員問題です。会員増強はもっと大きくあるべきです。人口調査を見ると、郊外への人口移動が見られます。同時に都会には若い専門職業者がますます多く集まっています。遺憾ながらその多くはライオンズクラブ入会の必要性を感じていません。事実、これらの人々には何にも所属しようとしていません。ですからこの新しい世代の人々にライオニズムを通して行う奉仕の利点を気づかせる必要があります。私たちはこの世界最大の奉仕組織を通して人類奉仕に多大な貢献ができることを実証しなければなりません。

この変化する社会でこれらの人々は成果を重視する人たちです。そしてボランティア奉仕においても、ライオンズとしての働きに多大な成果があがったということ即座に知りたがりです。測り知れる成果というものが大切なのです。

奉仕のメッセージをこの若い世代の人々に伝えなければなりません。その効果がないのなら私たちの方法を変える必要があります。男女共々優れた人々に「ライオンズクラブに入りたい」と思わせるようなプログラムを開発する必要があります。そのためには地元の社会だけに限ることはできません。なぜならこれら将来のライオンズは、地元社会の向こうにも援助の必要性が存在することを知っているからです。ですから、私たちは全人類のためになる方法で人類奉仕をすることに重点をおくべきです。奉仕のメッセージをはっきりと大声で叫ぶ必要があります、それをするのは「今」なのです。

私たちのやり方に変化が必要なら当然それを実行すべきです。例えば、私たちの習慣や儀式が、入会してほしい若い人々の価値感と異なるものであれば、それを変えるか取り除くべきです。昔うまくいったからといって、今日または明日それが通用するとはかぎりません。私たちのゴールは優れた人物を誘い入れることです。人類のために、時間も労力も惜しまず献身しようとする人、人一倍努力して奉仕の使命を果たそうとする人です。

ライオンズクラブ会員になることの満足感を与えることにより、そして協会の目的は何かということをはっきり表明することにより、そのような優れた人物を誘い入れることができるのです。同時に多少の自慢話も害はないと思います。150万人のライオンズ、ライオネス、レオがこの世界をより良き所にしているという業績も大いに話しましょう。

また、会員になることは、同じ夢を描くこと、即ち、会員たちが手をたずさえて特定の事業に力を注ぎ、力を合わせたことから大きな成果を得られる、そんな組織の一員としての夢を描けることも話したらよいでしょう。

これらの若い優秀な人物が、男女とも、協会の国際性というものを理解することも非常に重要です。会員とは世界の162か国を代表する組織の会員になる、ということ自覚してもらわなければなりません。この国際性というものは優れた人物の関心を引きつけるに違いありません。そのような人こそライオンズとして必要なのです。

政治的または哲学的な理由でライオンズクラブが歓迎されていない地域にも進出していくべきであるという考えにも私は賛成です。時代は変わっています。そして私たちもこの変化に順応するべきです。これらの地域にライオンズクラブを結成し、ボランティア奉仕のアイデアに同感の人物を入会させることができるならぜひともやってみましょう。

皆さんは、この数年間国際会長が新しい主要奉仕プログラムを提案していないことにお気づきでしょう。今は、長期的な国際奉仕プログラムを定め、継続的に事業を行って最大の効果をあげ、その結果、ライオンズに対する一般人の認識を深めることに重点が置かれています。新しいテーマやスローガンはありません。私たちのプログラムは決まっており、友情のきずなも強くなっています。私たちは、特定の奉仕に尽くす意を固めています。これ



We Serve

からは、その事実を世界中の人々に知ってもらい、世界の優秀な人物を会員として招き入れるようそのシステムを改良しましょう。そうすれば私たちの人道主義的奉仕活動は広まり「われわれは奉仕する」のメッセージも広まるでしょう。

私たちのモットーや紋章を通して協会の名声が高まっていること、また高まるべきことを考えるとき、ある重要な点を強調したいと思います。これは多分あまり話題になったことがないでしょう。それは、ライオンズが誰であり何をしているかを人々が知っているかということです。「勿論私たちの町の人々は、ライオンズが誰で、何をしているか知っていますよ」と言うかもしれません。

率直に言って、必ずしもそうではないと思います。ライオンズが誰かと共同であるいは単独で従事している事業に私たちの名称や紋章が表示されていないと、絶対にイメージ高揚には役立たないのです。

ここにも変化が必要です。

自動車製造会社は、それがトヨタであろうと、フォードであろうと、その会社名が表示されたような車を作ることはないでしょう。

しかし世界各地には、ライオンズが設立し、資金を出し、育て上げ、運営を続けていながらライオンズの名や紋章さえも堂々と表示されていない公園、リハビリテーション施設、学校、診療所、キャンプなど種々の施設が数限りなく存在しています。これでは「ライオンズとは誰なのか」とよく聞かれるのも無理はありません。ライオンズは、どこにしようと自分たちが責任をもつ事柄にすべてライオンズの名と紋章をつけるべきです。もっと自己宣伝をしましょう。多くの人々が私たちの業績を理解すればするほど私たちに協力してくれるでしょうし、私たちに加わるかもしれないのです。

さらに、私たちライオンズは、自分たちの運命を定め、私たちの存在を主張するべきで、他の軍隊の歩兵になるべきではありません。ライオンズの名が含まれないプログラムには参加したりサポートしないということを皆に知らせるべきです。現在ライオンズが支援している事業は価値がない、といっているのではありません。しかし現実的にみてみましょう。その事業にライオンズの名が出ていなければそれは他の組織の事業として認められ、一般人の協力もその組織に与えられることになってしま

うのです。

協会の働きが人々に知られていないこと、そして入会したいという人が減っていることの理由のひとつがこれなのです。今ここで意を固め、私たちの行う事業がすべて必ずライオンズの事業として知られるよう手を尽くしましょう。これは、私たちライオンズが一般人に対して示すイメージの一部、重要な一部、なのです。しかもその外にもイメージに重要な要素があります。

世界には136万人のライオンズクラブ会員がいます。自分たちがライオンズであることを示すラベルピンを皆つけていますか。非常に残念ながらつけていないのです。3万9千の町々の130万人以上のリーダーというのは人口のかなりの率になりますのでラベルピンを表示すればライオニズムの存在がますます認められるとは思いませんか。協会との関係を大いに誇りとし、他の人々にもその誇りを知ってもらいましょう。ライオンズ・ラベルピンを胸につけ、その誇りを堂々と表そうではありませんか。

ラベルピン着用を奨励するため、ビジネスマンの服装に適した小さなラベルピンが作られ、クラブ用品カタログを通して用品番号B-12として販売されています。また車につけられる新しい紋章を作ることも依頼しました。これも、最近の小さい車に合わせて小さくなっていますが、はっきりとよく見える紋章で、誇りをもって使っていただけたと思います。これらは、会員であることの誇りを表示していただくよう、協会が皆さんにお手伝いしているほんの数例です。

国際協会としての私たちの全体的イメージは個々の会員が他の人からどう思われているかで決まります。ライオンズとして、私たちには、ライオンズクラブ国際協会の土台となっている道德上の原理に従って生活する義務があります。ライオンであるその人が優秀な人物であるとする特定の個人的水準です。正に、私たちの名と紋章のイメージは個々のライオンの人格、社会的意識、個人的な態度によって高揚されるのです。

また私たちが国際レベルにおいて映し出すイメージの重要性も強調したいと思います。これはライオンズ、ライオネス、レオが、いかにして世界の人々の間で善意と理解を推進しているかを見ると分かります。

今年私たちがスポンサーする平和ポスター・コンテス



We Serve

トは協会の国際的機構を利用して、他の人々に、そして特にこの場合子供たちに、世界平和推進の必要性を認識してもらう絶好の機会だと思います。クラブが存在するあらゆる国、領域のライオンズがこの事業に協力し、人間にとって非常に大切な「平和」についての考えを発表するよう若い人たちに奨励して下さい。共産国などライオンズクラブが存在しない国からの出品も受けつけて国際理解をさらに促進するコンテストを行うことも将来のいつかできるようになるかもしれません。

青少年のためにある協会の国際プログラム、即ち青少年交換とユース・キャンプも異なる文化、国語、政治的背景をもつ人々の間に相互理解の精神をつちかう主要プログラムです。

この活動に参加した何千人もの青少年たちは、その経験を通して、言葉、人種、文化、政治の違いは表面的なもので、超越できること、そして本当に重要なのは大陸や大海を越えて友情の手を差し伸べたいという願い、進んで他国の人も話し合おうという気持ちであることを学びました。必要であれば異なる意見があってもかまわないのです。ただ他の人の意見をそれなりに尊重するのです。

これらの参加者は、若いときに世界社会を理解する肝要性を学んでいます。ですからライオンズは平和と友情の理念を広めるこの二つのプログラムを全世界で実施するよう努めるべきだと思います。

25年前、私は恐る恐る私の娘をスイスの学生との交換プログラムに参加させました。この経験は私たちの人生を変え、私が今ここに立っている事実はこの経験と直接関係あると信じています。

これからの1年間、ライオニズムの「ウイ・サーブ」のイメージを高めていく大きな機会、そして最も尊敬される国際奉仕クラブ組織にこの協会を育て上げる機会が私たちに与えられています。

薬害教育と糖尿病教育という国際奉仕プログラムの支持においても、軌道はずさないようにすることが大切です。5年前に最初の世界的プログラムとして薬物やアルコール乱用防止の運動を始めて以来、世界各地のクラブはこの「社会の悪」と闘うため、それぞれユニークな方法で事業をしています。薬物乱用の問題を持つ子供の親にいろいろな助力を与えたり、地域社会の人々に種々

の教育資料を提供したりすることが事業の数例です。

ライオンズクエストの「少年少女の能力」プログラムはますます多くの国々で採用されており、薬物を試してみたり、その他の非行の道への誘惑が仲間同志の間で、往々にして強くあるとき、その誘惑に打ち勝つ能力と自信を子供たちに植えつけています。さる3月の会議で国際理事会は、低学年用に同種のプログラムを実施することに決めました。この新しいプログラムは5歳から11歳の子供を対象にした生活教育です。5年計画で始められたこのプログラムの契約が切れる1990年までには、薬物とアルコール乱用防止に努めるライオンズの働きを通して私たちの社会の将来に多大な影響が及ぼされているに違いありません。

糖尿病教育と研究も世界のライオンズのたゆまぬ努力を必要としているプログラムです。この恐ろしい病気を防ぐための手段を一般人に認識してもらうこと、そして世界での失明の主因となっている糖尿病性網膜症の研究を支持することにおいて必要とされています。また、LCIFへの協力を再度お願いします。LCIFはライオンズクエスト・プログラムと糖尿病研究のためにも多額の援助金を交付しています。

国際ライオンズとしての私たち個人の責任とグループとしての責任を、これからも十分に理解していきましょう。偉大な力を秘めている協会のプログラムに、今後もっと協力していきましょう。私たちは社会に大影響を及ぼす力を持っています。私たちが力を合わせる同じ時に同じ方向に向かって力を注ぎこめば、その影響は見のがしがたいものになるでしょう。私たちが今協会の秘める力を理解すれば、将来のプログラムが成功する可能性も多くなります。皆さん、ライオンズ会員であることを世界的見地から見るように努め、協会全体のライオンズと共に「われわれは奉仕する」の信条を実行に映す意を固めて下さい。

私たちに課せられた仕事は大きく、直面する問題も難しいものでしょう。しかし私たちはより良き世界を築く夢を描いており、献身的奉仕を続ける人々によるこの人道主義的組織の無限の力を知っています。そして、私たちが最終的に成功を取るとき、私たちは、協会の歴史で非常に重要な時期に生き、仕事をしてきたことを、誇りに思うに違いありません。

本年度の抱負と方針

キャビネット構成員

キャビネット幹事 L 木下 務 (船橋LC)



L 経歴
 1982年～1983年 クラブ幹事
 1983年～1984年 2 R. PR情報委員
 1984年～1985年 クラブ会長
 1985年～1986年 国際協調YE委員
 1986年～1987年 国際協調YE委員
 1987年～1988年 2 R. IZ ZC

今期の地区運営に当り、絶対必要なのは何かを考える。まず第一に予算ではないか? と思い、調べてみる。

幸いな事にこの4年間、地区構成員として末席を汚がして来たので、その資料は私の手中にある。

収入の部、毎年そう違いはない。

支出の部も目新しい数字もないが、ただ一つ剰余金(次期繰越金)が目についた。1983年～84年(千葉CAB)の時、6,118,468円あった剰余金が、1984年～85年(上総一の宮CAB)の時は5,609,093円となり、1985年～86年(銚子CAB)は、3,753,821円、1986年～87年(館山CAB)では2,448,521円と減少の一途をたどっている。上記3年間で、毎年平均130万円の赤字を計上している現況である。

前年度の富津CABからの繰越金は、いくらあるのだろうか? 心配になって来た。平常通りで行ったとしたら次期CABはまだしも、その次は赤字を出す計算になってしまう。かと云って地区費はそうかんたんに値上げる訳には行かない。CAB会議を通過し年次大会の決定が必要である。前年度、4月24日木更津に於いて、第4回CABが開催され、その席上、手塚ガバナーにお伺いしたがその通りであった。

現在、地区費は1人1ヶ月550円と全国的に同じだそうで、333-C地区だけ値上げも問題がありそうで、そう簡単に解決出来る問題ではなさそうである。

手塚ガバナーには今迄、ガバナー公式訪問(ゾーン単位)にお祝金を持参し、又各クラブの周年行事にもお祝金を出していたが、昔はなかったし、いったいつ頃からこうなったかわからないが絶対ヤメルべきだと申されていた。次期からは持参しない事に決定。(私は今年、ZCとして、戴いてしまった。)これぐらいではまだまだ焼石に水であろうけれど。

幸いな事に、今期には全国的レベルの合理化推進委員長を経験された習志野LCの渡辺淳Lが、会則、会員増強、EXT委員長としてお手伝い頂けるので心強く感じて居る次第です。

この現実を、メンバーの皆さんに少しでも、ご理解戴ければ幸いに思います。

キャビネット会計 L 櫻井一正 (船橋中央LC)



L 経歴
 1972年 入会
 1977年～1978年 理事
 1978年～1979年 テール・ツイスター
 1980年～1981年 幹事
 1981年～1982年 第一副会長
 1982年～1983年 会長
 1983年～1984年 前会長
 1984年～1985年 2 R. PR情報委員
 1986年～1987年 2 R. IZ ZC
 1988年～1989年 キャビネット会計

本年度、キャビネットの財政を預かりますL櫻井でございます。経理については全くの音痴であります。それが今般、はからずもキャビネット会計と云う重要な役職の任命を受けまして、先ずは戸惑い、わが身の軽率さ、又責任の重大さに身の引き締まる思い、と気持ちがいろいろ交錯している次第であります。

常に考えていることですが、何の役職にも云えることだと思いますが、特にライオンズクラブの役職について痛切に感じますことは幹事にしても、会計にしても、又各種委員長にしてもみな云えることは、その役職についてみないと、その役職の中味と申しますか、勘所がわからない。初めはふだん見ていて、ああ、ああいう仕事かと、何となく納得していても、いざその立場になると予測していたのとは大分ちがう。これは従の命令系統のないライオンズに特に云えることではと思いますが、現在この役職に悪戦苦闘しております。皆様の御協力を切にお願い致します。

幹事と会計



1R-RC L 平川 進
(柏グリーンLC)

L 経歴
初代会長
1 R. 3 Z. Z C
2 年理事、会員会則委員長
(柏商工会議所専務理事)

「高めよう 心豊かなL字の誇り」。小泉ガバナーは地区アクティビティスローガンであると同時にガバナー方針とされましたが、私の1リジョンデピュティガバナーとしての抱負のすべてを云いつくされております。ガバナーの最良のスタッフの1人として、グッドスタンディングにこの大任を果たす覚悟です。

R
C



2R-RC L 大塚喜作
(船橋LC)

L 経歴
1975年～1976年 会長
1976年～1977年 年次大会副委員長
(事務局長)
1983年～1984年 2 R. 1 Z. Z C

船橋LCに入会してより27年余が過ぎ、終身会員にもなったので、クラブ例会に出席し、のんびり過ごす考えでおった処、小泉Lより船橋LCの推薦をうけ2RのRCをやってくれとの連絡があり、私としても小泉Lにガバナーをやるよう進言した一員でもあるので、何らかのかたちで協力しなければならないと考えておりました。浅学非才の私には大役なれど引き受けた次第です。

今後は小泉ガバナー方針が達成する様努力し、2Rの各LCにもガバナー方針を指導伝達し協力していただくよう努力し、We Serve に努めたいと思います。



3R-RC L 竹久定雄
(千葉若潮LC)

L 経歴
1978年～1979年 幹事
1980年～1981年 会長
1981年～1982年 Z C
1983年～1984年 C A B 副幹事

桃栗3年柿8年ではないが、単県独立して8年目を迎え、当時その準備に関与された小泉ガバナーが提唱される意図をこれから勉強させて頂き、リジョン内にも充分反映するよう努力と誠意を尽したいと思います。

又、333-C地区ライオンズ憲章を空文とすることなくその理想実現に力強い邁進に手を携えて、ウイ・サーブがより実りある年度となるようお願い、ガバナーと共に精進する覚悟です。

何卒、皆様方の温かいご指導ご鞭撻を賜わり、充実した任期を務められますよう格段のご支援の程お願い致します。



4R-RC L 長島 彪
(佐原LC)

1965年 入会
1969年～1970年 幹事
1972年～1973年 幹事
1982年～1983年 4 R. P R 情報委員
1985年～1986年 会長

この度、大役を任命され身の引き締まる思いと責務の重大さを痛感しております。微力ながら「誠意と努力」をモットーにその職責を果たしたいと思います。

ガバナーのスローガンである「高めよう心豊かにL字の誇り」のもとに一年間その方針を忠実に実現するために、Z Cと共に、スローガンの実践に努め、リジョン内の各クラブの健全なる運営とWE・SERVEの精神に徹して、価値あるACTを行い地域社会に密着した、地域に愛されるライオンズクラブとして発展するよう歩んで行く所存です。

皆様のご協力をお願い致します。



5R-RC L 高木仙造
(木更津中央LC)

L 経歴
 1966年 入会
 1970年 幹事
 1974年 会長
 1985年 ZC
 1986年 地区レオ委員
 1987年 地区委員長

此の度5RRCという要職を拝命され、身の引き締まる思いでございます。しかし謙虚な姿勢の中にも誠実な指導力を持たれる小泉地区ガバナーのご指導を賜わり今年度のスローガン（高めよう心豊かにL字の誇り）を柱として微力ですが努力致す所存です。

私共5R各クラブも今年19年～24年のC歴で最近よく聞く「マンネリ化」に近い状態のクラブもあるように聞いているので、今年度は明るい楽しい例会創り、又会員増強によってクラブの活性化を図り、且、原点復帰の意を再検討し先輩、後輩、年代の相違は相互の思いやりの心で乗り越え、新たにL字マークの意を再確認すべきかと思ひます。以上を1、2ZCの協力を頂き努力したいと思ひます。よろしくご指導賜りますようお願い致します。

RC



6R-RC L 野村久治
(房総勝浦LC)

L 経歴
 1970年 入会
 1977年～1978年 会長
 1980年～1981年 ZC
 1986年～1987年 地区視力・聴力保護委員長

今年度6RのRCの重職を、引き受ける事になり、身に余る光栄です。私ごときその職の器ではありませんが今迄二回のキャビネット構成員として務めた、経験を少しでも生かさせればと思ひて居ります。

地区ガバナーに対し忠実なRCとして、ライオニズム組織において個々のクラブが最も重要な単位であると言ふ事を常に心得、地区ガバナーの指導の下、6Rをより良き、リジョンにすべく努力して行かなければならない、と思ひて居ります。先の大戦中、フィリッピン戦線で戦死した多くの友を思う時、生き延びた今ある人生を奉仕にと考える者です。何卒メンバー各位の御協力を御願ひ致します。



7R-RC L 吉野正三
(上総一宮LC)

L 経歴
 1965年～1967年 クラブ幹事
 1968年～1969年 7R PR情報委員
 1969年～1970年 クラブ幹事
 1973年～1974年 クラブ会長
 1974年～1975年 ZC
 1984年～1985年 地区幹事
 1987年～1988年 クラブ幹事

老骨が本年度RCに引き出されました。元来無能の私に期待等される方も居らない筈で御座いますが、年々アワードの時期になりますとRCとキャビネットのやりとりを見て、クラブに対してアワードに対する考え方を改めて、地域に密着した奉仕活動と楽しいクラブ運営に向かって思考し乍ら、地域内の和を維持して行きたいと存じます。よろしく御指導をお願い申し上げます。

RC

1 R 1 Z Z C L 長谷川一吉 (市川LC)



1980~81 会計
1982~83 第二副会長
1984~85 第三副会長
1985~86 第一副会長
1986~87 会長

Z Cと云う大役を拜命して内心憂慮しておりますが、1 R 1 Z 7クラブの皆様のご協力と、ご鞭撻を心の糧とし、平川RCのご指導のもとにC A Bとのパイプ役として、3 3 3-C地区ライオンズ憲章とガバナー方針をモットーとしながら、これからの一年間を一生懸命頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

Z
C

1 R 2 Z Z C L 皆川春安 (流山LC)



1977~1978 クラブ会計
1980~1981 クラブ会長

L字の旗のもとに参加して10年余。人の世の不思議な出会いに始まり、ライオンズの魅力にとりつかれ、これからも自分へのきびしさに精出し、集団の楽しさを満喫する人生に徹したい。
ゾーンチェアマンになることによって、新しい自分が発見出来たら幸いだ。奉仕の根源は与えることではなく、自ら得ることの大きさと自覚している。

1 R 3 Z Z C L 毛利隆一 (印西LC)



1982~83 計画大会委員長
1983~84 幹事
1984~85 第一副会長
1985~86 会長
1986~87 前会長
1987~88 出席委員長

地区ガバナーのもとその運営方針を理解し、ゾーン内の「和」を基本にして活動したい。幸い我がゾーンは優秀な先輩クラブばかりですので、その点心強く思っております。きばらずに肩の力を抜いて、而もルーズに流れぬ様、各クラブの自主性を尊重して運営にあたりたい考えです。一年間各クラブとのパイプ役のみならず、ポンプアップ役としても頑張ります。

2 R 1 Z Z C L 坂巻豊国 (沼南LC)



1976~1977 チャーターメンバー幹事
1978~1979 3代会長
1983~1984 8代会長
1985~1986 10周年記念実行委員長

結成以来10余年、初めてのゾーンチェアマンを引き受けクラブ一同緊張しているところです。今日まで会員数が少なく、クラブの維持発展のみを考えていた私達にとってはまさしく大役であり、その職責の重みを強く感じます。しかしお引き受けしたからには「奉仕の心」を一層発揮し、精一杯努力いたしますので各クラブの皆様のご指導ご協力をお願いいたします。

2 R 2 Z Z C L 土屋敏一 (習志野中央LC)



1984 チャーターナイトメンバー
1984 第1副会長
1985 2代会長

初代川本Lが健康上の都合でZ Cを辞退されました為、非才の私に大役が回って参りました。ライオン歴も4年有半の私には大変な重荷ではありますが、地区ガバナー小泉Lの指針に添い、各クラブメンバー皆様の御支援の下、1年間頑張ってゆきたいと考えて居ります。宜敷くお願い致します。

3 R 1 Z Z C L 山浦誠正 (佐倉LC)



1966 入会
1969~1970 幹事
1977~1978 会長
1985~1986 幹事

今期一年Z内、各クラブの皆様のご協力を戴きながら、ガバナー方針「高めよう 心豊かに L字の誇り」に従って推進して行きたいと存じます。RCよりも期内二回のクラブ訪問の要望が出されておりますので、此れを機会にZ内の疎通を図り、絆を一層緊密にして強固なものにしたいと存じますので、皆様のご支援と協力を重ねてお願い致します就任の言葉と致します。

3 R 2 Z Z C L 森野銀一郎 (千葉ポートLC)



1983 チャーターメンバー
1984~1985 第三副会長
1985~1986 会長
1987~1988 指導力開発委員長
1988~1989 3 R 2 Z Z C

ライオン歴も浅いため、先輩各ライオンズや同僚会員の御指導御叱咤を頂き乍ら、キャビネットゾーン内クラブの密接な連絡を心懸けたいと存じております。
又、リジョン内各ゾーンチェアマンとも連絡を図り、クラブ間の融和を図りたいと思っております。

3 R 3 Z Z C L 加藤悦太郎 (千葉エコLC)



会長
会計
財務委員長

重大な任務である、Z Cとは何かを認識して行動します。基本的には国際協会の目的に定められた事の推進と思いますが、重点を絞って効果を上げる事を考慮致します。
次に地区ガバナーの方針を理解し、各クラブに徹底すると共に各クラブの意見を尊重致します。私はウイサーブと同様に、Till We Meet Againの歌が好きです。あの歌は、メンバーの融和を進める含みが多分にあります。

4 R 1 Z Z C L 廣瀬太郎 (神崎LC)



1973~1974 幹事
1975~1976 会長
1980~1981 会長

単位クラブの自主性を尊重し乍ら、且つ「ガバナー」の方針の実現にパイプ役となり努力したい。抱負はクラブ間の相互理解と友情の絆を強くし、クラブの活性化、出席率の向上、楽しい例会作り等により、魅力ある自他共に誇りを持って「LC」作りにメンバーの皆様と一緒に精進したい。

4 R 2 Z Z C L 越川浩一 (総武中央LC)



会長

会員の皆様のご推薦をいただき、ゾーンチェアマンに就任いたしました。
RCの下にあってガバナー方針をゾーン内各クラブに伝えゾーン内を纏めるのが本来の役ですが、それに加え各クラブの訪問を通じ、我がクラブと各クラブとの友好関係を更に深める様、努めたいと思っております。

Z
C

5R1Z ZC L 北沢庸雄 (木更津LC)



幹事
会長

この度5R1Zゾーンチェアマンに任命されましたが、責任の重大さに痛切に感じずにはられません。私は、地区の諸先輩の蓄積された伝統と業績に対し、はじることのないように、一層の英知と地域社会奉仕活動、ならびに諸活動に対して、より大きな成果を築き上げるよう努力と相互の理解を深め、ライオンズムの高揚に尽力したいと思います。

6R1Z ZC L 鈴木重司 (館山LC)



1964~1965 2年理事
1965~1966 1年理事
1972~1973 テールツイスター
1975~1976 第1副会長
1976~1977 会長
1973~1974 6RPR情報委員

6R1Zのゾーンチェアマンとして、ゾーン内の親睦を重点目標として、内部の融和を図り、それを地域活動の活性化の源とし、私の個性を活かしたライオンズ運動を通じて、地域社会に奉仕したいと念願して居ります。

7R1Z ZC L 木村一馬 (白子LC)



1979~1980 初代幹事
1980~1981 幹事
1982~1983 会長

この度、私には思いもよらず、ZCの大役を受けて職責の重大さを痛感しております。ガバナー方針を理解し、ゾーン内各クラブ運営に役立つよう努力して参ります。皆さま方の御指導、御支援を宜しくお願い致します。

地区PR・情報委員長 L 小石 税 (船橋ポートLC)



1984~1985 会長
1985~1986 会長
1986~1987 2R ZC

日本のライオンズクラブの歴史等を知る機会が少なくその中で、大きく日本を動かした奉仕活動、又地区、RZ等で県・市・町等を動かした奉仕活動があると思います。その事実をしらべ皆様に知らせたい。又現在各クラブの奉仕活動をもっと市民にPRすべきだと考えています。どうすれば良いか各PR情報委員の方と研究したいと思います。

地区国際協調・YE委員会委員長 L 山内克己 (成田LC)



1965 チャーターメンバー
1977 会長
1978 東京国際大会実行委員
1986 333-C YE委員
1987 333-C YE委員
1988 333-C YE委員長

今年も又皆様に大変御世話になりました。御陰様にて夏のYE活動も無事に終了する事ができました。今は冬期オセアニアの来日生の準備中、そして来年の派遣生の選定と気の休まる間もない毎日ですが、ライオン歴23年最も充実した活動を興えられ感謝致して居ります。これから一年悔いの残らぬ様、YE活動に全力投球致します。

Z
C

5R2Z ZC L 石井三郎 (富津LC)



クラブ会長、地区レオ委員
YE委員、地区レオ、ライ
オネス委員長、複合地区レ
オ・ライオネス委員、キャ
ピネット副幹事

5R2Zは昨年度ガバナーを選出した名誉あるゾーンとして、ライオンズの唯一の目標である We Serve に向かって全メンバーが仲よく、楽しく活動出来るよう努力すると共に、各クラブの自主性を尊重しながら国際会長、地区ガバナーの方針を徹底させると共に、ゾーン内クラブが活気あるクラブ運営出来るようゾーンチェアマンの役職を全うする決意であります。

6R2Z ZC L 小谷八十吉 (房州白浜LC)



1982 入会
1985~1986 第3副会長
1986~1987 第2副会長
1987~ 20周年式典委員長
1987~1988 会長

地区ガバナー及びRCの意を体し、
①単位クラブの自主性を尊重し、愛と友情によって相互の理解と強い団結をはかる。
②会員の増強によって各クラブの充実活性化に努める。
③有能な現クラブメンバーの退会防止に協力したい。
以上3点を重点目標として、ZCの責任を全うしたい。

7R2Z ZC L 本田輝司 (東金LC)



1976 入会
1978~1981 会計
1982~1983 幹事
1984~1985 地区副会計
1985~1986 会長

ZCの大役をお引き受けするにあたり、その任務の重大さを痛感しております。ZCとして、国際会長、地区ガバナーのスローガンのもと、その方針を理解し、実行することにあると思います。まず、ゾーン内クラブの現状を把握し、相互理解と親睦を図り、また、パイプ役として、ZCの職責を全うしたいと思います。どうぞよろしくご指導の程、お願い申し上げます。

地区会則・会員増強・EXT委員長 L 渡辺 惇 (習志野LC)



複合地区
長期リサーチ
1984~1985 指導力開発委員長
1985~1986 会長
1984~1987 全日本LC合理化
推進委員

会則はクラブ活動の原点である。その骨子だけは全メンバーが十分理解すべきである。その一助となりうる活動ができれば幸いである。会員増強およびEXTはLC活性化の源泉である。ガバナーのリーダーシップの下に各クラブでの一層の努力が続けられるであろうが、私としても労をいとわず頑張ってみたい。ご援助を切望する。

地区青少年対策委員会委員長 L 鈴木利一 (船橋中央LC)



1968.1.26 入会
1973~1974 会計
1975~1976 第二副会長
1976~1977 幹事
1977~1978 第一副会長
1978~1979 会長

明日を担う青少年が急速かつ多様な現在社会に於いて健全に育っていく事は親はもとより私たち大人が皆んな願っているところです。私は本来奉仕活動は女性が一番適していると考えております。その利点を活かし、組織的に活動をして頂くための新クラブの結成に全力をつくしたいと考えています。

地区委員長

地区長期計画リサーチ指導力開発委員長 L 中村 清成 (八千代LC)



会長、ZC、地区PR情報委員長、RC、地区長期計画リサーチ委員長、地区長期計画リサーチ指導力開発委員長

限られた沃野であった日本ライオンズ、その開拓された土壌は掘り起こされ、豊穡な稔を続けた。その最盛期の夢が今もなお在るが如くの観念は、任に当たったLにとっては酷なことである。改良と密度ある変化を続け、日本の土壌にあった日本ライオンズの、品種と座標を希いたいもの、その芽生えの一粒の種となれば……。

地区環境保全・LCIF・合同ACT研究委員会委員長 L 名取 駿 (船橋東LC)



1976~1977 CAB副会計
1978~1989 船橋LC会長
1980~1981 2R1ZZC

準地区の委員長職と云うのは、具体的な活動が割合しにくい様に出来てると思います。幸いにして、私が担当する所は具体的に動き易いので精一杯頑張りたいと思っております。そして任期中各委員会の職務のあり方等についても考えてみたいと思います。献眼、献賢、献血にご協力をお願い申し上げます。

地区献眼・献賢・献血推進・地区運営委員会委員長 L 高橋 弘 (船橋LC)



会長
2R1ZZC
CAB副会計

去る5月21日地区年次大会において、財団法人千葉県アイバンク協会への協力態勢について、左の如く決議されました。決議「333C地区ライオンズ憲章に則り、単位クラブの自由性を尊重しつつ、提案の趣旨に沿って新しい視点に立ったより効果的なアイバンク活動への協力を推進する。」絶大なるご協力をお願い申し上げます。

1RPR情報委員 L 野口 精治 (柏グリーンLC)



1980~1981 市民教育レク委員長
1981~1982 計画大会委員長
1982~1983 第三副会長
1983~1984 第一副会長

1984~1985 第五代会長
1985~1986 前会長
1986~1987 市民教育レク委員長
1987~1988 視力聴力盲人福祉委員長
1988~1989 地区PR情報委員

小泉地区ガバナーの方針にそって、1R各クラブ内のライオンズの高揚と運営、活動面の情報収集し、充分PRの活性化を図り、その実現に邁進し、投稿を歓迎し掲載したいと思っています。

3R.PR情報委員 L 中村可夫 (千葉若潮LC)



1979~1980 ライオンテーマ
1980~1981 副幹事
1983~1984 幹事
1984~1985 ガイディングライオン

1985~1986 副テール・ツイスター
1986~1987 PR情報委員長
1987~1988 第3副会長

3RのPR情報委員を引受け、その大役の重さに責任を感じます。ガバナー方針を踏え、R内の各クラブ会員の御指導と御協力を得、キャビネット構成員の一員として、「地区ニュース」発刊に協力する所存です。

地区委員長

地区薬害教育・委員長 L 郷 定男 (銚子LC)



クラブ会計、幹事、会長、333-B地区PR情報・リーダーシップリサーチ委員、333-C地区CAB会計、会計監査委員

故人曰く「一日の学問は千載の宝、一言の教訓重きこと千金」とか、会員の皆様のご友情とご指導・ご協力を賜わりますよう、お願い致します。

地区視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員会委員長 L 大島 博 (鎌ヶ谷LC)



1974~1975 会長
1984~1985 2R1ZZC
1986~1987 2R-DDG

健康に勝る宝なしと諺にある。私達は日頃健康と言う宝を忘れ不平不満が多いのではないのでしょうか。1988年度地区聴力保護、言語障害、盲人福祉委員長をお引受するに当り先ず地区ガバナーの方針に則りそのプログラムを推進すると共に委員長の考えを加えてその任務と義務を果たすことが第一である。

地区国際協調YE副委員長 L 望月 武峰 (習志野LC)



1972 入会
1972~1973 広報教育委員
1973~1974 副ライオンテーマ
1974~1975 出席委員長
1975~1976 事業委員
1977~1978 事業副委員長

1979~1980 会計
1980~1981 財務委員長
1986~1987 第三副会長
国際協調委員長
1987~1988 クラブ幹事
1988~1989 国際協調YE副委員長

私信 現在のニーズに合ったLCIF & YEプログラムは、インターナショナルの最もふさわしい協調アクトだと思っておりますので自分の役目を通じてがんばります。

2R.PR情報委員 L 滝口 政雄 (船橋LC)



1973年船橋LC入会
1975~1976 会計
1978~1979 幹事
1982~1983 会長

今年度はからずも地区PR情報委員を仰せつかりました。まったくの浅学非才、また不慣れで不得手なPR情報委員でございますが、幸い委員長の小石税ライオンは旧知の間柄、色々と御指導頂き乍ら1年間勉強して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

4R.PR情報委員 L 小林利弘 (佐原LC)



1983 会計
1985 幹事

地域に密着した、地域に根ざした、地域のニーズに合ったアクティビティ、と言った地域社会の人々との融和を旨としたACTが叫ばれていますが、キャビネットと単位クラブとの情報交換を通じて、そう言うACTの実現の一助になれば幸いです。

PR情報委員



5 R. PR情報委員 L 田中秀夫(木更津中央LC)

今年度PR情報委員に任命され、責任の重大さを痛感して居ります。先輩委員の立派な業績を参考に頑張る所存です。周年行事10年、20年の多い現在どうしてもマンネリ化しやすい我々の活動を正しく原点を見つめ乍ら、新しい息吹きを感じられる様な地区ニュース作成、又地域に対するPRに務めたい。メンバー各位の御指導と御協力をお願いします。

幹事



7 R. PR情報委員 L 東條安夫(上総一宮LC)

333-C地区PR情報委員会活動方針に則り委員会の目的と役割を適切且つ正確に務めて参りたいと思ひます。よろしく御指導のほどをお願い致します。

1986~1987 C会計
1987~1988 C会長

地区ニュース編集委員

今年度小石税PR情報委員長のもとに右3名ガバナーズレターにふさわしい地区ニュースの編集に努めます。各リジョンPR情報委員各位に御協力をお願いしておりますが、原稿集めに大変御苦労されると思ひます。各クラブ、各ライオンのユニークな御出稿を期待しております。



富士原 勇
(船橋ポートLC)



川尻 誠一
(船橋ポートLC)



鈴木 正興
(船橋ポートLC)



地区国際協調・YE委員 L 青木 孝(松戸東LC)

地区YE委員として、いわゆる地獄の恐怖を1年間絶えず感じてきたが、同時に極楽の歓喜も味わせていただいた。本年度も各クラブにおかれても、国際間の理解と協調の芽となるYEプログラムの大切さを認識され、YE生の派遣・受入れに熱意を持っていただきたいと思ひている。

1981~1982 初代会長
1987~1988 国際協調・YE委員



地区国際協調YE委員 L 椎名英夫(光LC)

YE活動が忙しいほど生き甲斐を感じる。今年度は二年目、精一杯努力し初期の目的を達成したい。国際協調の役割の一環として、LCIFの徹底もはかりたいので、YEだよりも内容を掲載していきたい。この一年でYE委員を卒業できるので、先輩YE委員の指導を得て、YE活動を展開していきたい。



地区国際協調YE委員 L 川合敏男(館山LC)

優れた先輩達のご指導を得て、地区YE委員として二年目を迎えさせて頂きます。世界的規模でのYE事業の大変さ、重要さを改めて認識すると共に、地区YE委員のご苦労と努力に敬意を表す次第であります。せっかく任命されたYE委員、実力不足ではありますが、目一杯頑張る所存です。ご指導と応援をお願い致します。

1983~1984 会計
1984~1985 幹事
1987~1988 地区国際協調YE委員
1988~1989 第一副会長

PR情報委員



6 R. PR情報委員 L 片岡 和(房総勝浦LC)

「地区ニュース」を通じてライオンズクラブの活動を地域社会にPRし、理解と認識を深めるため、努力したいと思ひます。メンバー各位の御協力をお願いします。

1986~1987 幹事
1987~1988 会長

国際協調YE委員



地区国際協調YE委員 L 物部重夫(成田LC)

YE委員に任命されました事は、誠に心の引き締まる思いです。諸先輩のご指導のもとに微力ながら誠心誠意、世界の青少年の国際理解と、親善の促進を目的に努力致す所存です。



地区国際協調・YE委員 L 河野悟郎(茂原長生LC)

1968~1969 会計
1971~1972 第三副会長
1972~1973 第二副会長
1973~1974 第一副会長
1974~1975 会長
1975~1976 前会長
1976~1977 二年理事
1977~1978 一年理事
1978~1979 二年理事
1979~1980 一年理事
1981~1982 監査
1983~1984 二年理事
1987~1988 第7R-第1Zゾーンチャーマン



地区国際協調・YE委員 L 保科嘉彦(君津LC)

会話と対話。筆と作法。国家と文化。生活と風習。温古と知新。観光と職業(仕事)。明日の日本の将来を託す青少年健全育成にすべて身を持って体験するYE生。そのお手伝いをさせて戴ける機会を与えて下さった先輩又同志の皆様へ感謝をさせて戴きます。44才(シシの年)に出来る喜びを胸に!!



YE特別委員 L 松本良夫(君津中央LC)

1983~84 第5R.PR情報委員
1985~86 第5R.第2Z.Z.C
1986~87 青少年対策ネス.レオ委員
1987~88 国際協調YE.委員長

委員長の方針に従い協力します。

クラブ会計
" 幹事
" 会長
1979~80 年次大会副委員長



青少年対策レオ・ネス委員 L 三辻敏夫(富津LC)

メンバーの皆様、前年度は大変お世話になりました。お蔭様で大過なく過ごす事が出来ました事を心より感謝申し上げます。又、今年度も分も弁えずにお世話になる事になりました。前槽谷名委員長より学ばせて頂いた事を糧として、鈴木委員長の下で一生懸命頑張りますのでどうか今後共よろしく御指導御鞭撻の程を申し上げます。

1983~84 副LT
1984~85 LT
1985~86 会計
1987~88 レオ・ネス委員



地区LEO.LS委員 L 高橋宮男(船橋中央LC)

レオクラブ夏期研修会に参加して思った事はレオクラブ員は3日間楽しく過した事と私は感じました、出席する前はレオクラブ員にリーダーを育てる、和の心、思いやりの心、などと私なりに感じていたが残念ながらだめでした来年の夏に期待します。

ネスクラブは楽しい例会、又楽しく奉仕してほしい。

1974~75 会計
1977~78 幹事
1979~80 会長



年次大会委員長 L 高橋 巽(船橋LC)

「抱負」 本年度年次大会は千葉県第2の人口52万を誇るにふさわしい、ららぽ〜とショッピングセンター内のららぽ〜と大劇場とホテルサンガーデン。を中心として行う予定です。皆様のご期待にそう様、ホストクラブ市内6クラブが一丸となって努力致します。

1967~68 302-E7地区副会計
1974~75 水戸Cab会計監査委員
1976~77 船橋Cab地区会計
1982~83 習志野Cab指導力開発委員長
1986~87 船山Cab指導力開発委員長



年次大会顧問 L 野山青雲(船橋東LC)

久しぶりの船橋キャビネット、御同慶の至りです。

何んとしてもこの一年をライオンイズム高揚の為、万全を期し、特に最終締めく、りの年次大会を無事、盛会裡に収めたく、念願致します。愈て老骨に鞭打って頑張る心算です。何卒御遠慮なく積極的に御忠言、御支援下さる様、切に御願ひ申し上げます。

1975~76 船橋東LC会長
1977~78 地区年次大会副委員長
1981~82 333-C-2R DDG
1982~83 年次大会CAB顧問
1983~84 複合地区委員

年次大会副委員長



L 三橋 恒夫
(船橋LC)



L 竹内 貞
(船橋中央LC)



L 萩原 巖
(船橋東LC)

YE特別委員



YE特別委員 L 後藤隆一(柏中央LC)

地区内に於けるYE活動のお手伝いをさせて戴くようになり、随分と年数がたってしまいました。経験年数と知識量の間に相関関係が見当たらず、さしてお役に立っていない様な気も致しますが、若さとYE活動に対する情熱は減退する気配が全く有りませんので、微力乍ら、次第を担う学生諸君の為に努力を継続させて戴く所存です。

会長
地区YE委員

LEO・LS委員



青少年対策・LEO・LS委員 L 伊藤 實(流山LC)

青少年対策・LEO・LS委員という非常に広範囲な役職をおおせつかり、今、改めて事の重さを痛感しているところです。LCの組織の中で、これから進むべき方向として、この委員会の果たす役割は大きなものと考えます。ともかく一年間、皆様のご協力をいただきながら勉強したいと思っておりますので、よろしく願い致します。

1978~79 クラブ幹事
1982~83 ゾーン幹事
1985~86 クラブ第二副会長
1986~87 " 第一副会長
1987~88 " 会長



年次大会顧問 L 田中清衛(船橋中央LC)

1968~69 C会長
1969~70 C前会長
1971~72 ZC
1978~79 DDG



年次大会顧問 L 吉田政勝(習志野LC)

年次大会顧問は、盲腸的な窓際族的役職のように思われております。勿論多くの口出しはしませんが、私は自分の経験に基づいて参考になるようなアドバイスをさせて頂きたいと思っております。そして、よりすばらしい年次大会になりますよう念じております。地区内各Lのご協力をお願い申し上げます。

CAB幹事
複合地区管理委員長
複合地区各種委員
DDG、ZC、会長、幹事

年次大会関係



年次大会事務局長 L 大久保和吉(船橋LC)

年次大会事務局長の大役を仰せつかり、責任の重さを痛感しています。クラブ内でのささやかな活動しか経験のない微力な私ですが、識見豊かな大会委員長、関係役員の皆様方の潤滑剤として努力し、集大成とも言える年次大会を、最高のイベントとして成功させたいと念願しています。絶大な御支援と御指導をお願い申し上げます。

会長

年次大会副委員長



石井勝利
(船橋京葉)



嶋村清一
(船橋ボート)



初谷昌彦
(船橋北LC)

第35回333-C地区年次大会

船橋市で開催 1989.5.14



キャビネット副幹事 L 和田 毅(船橋LC)

クラブ会計

この度小泉ガバナーより地区キャビネット副幹事を仰せつかり、その職責の重大さを痛感しております。この一年間小泉ガバナーの下、黒子に徹し微力ながら心豊かに汗を掻く所存です。地区内メンバー及びキャビネット構成員の皆様への、暖かい御支援をお願い致します。

内局関係



キャビネット副幹事 L 平田 稔(鎌ヶ谷LC)

1984~85 会長
1986~87 2R.PR情報委員

キャビネット副幹事を仰せつかり、今更自分がその器ではないことを痛感し、私にその職責が務められるか不安に思っています。しかし、木下務幹事を補佐して1年間頑張ります。



キャビネット副幹事 L 小西宗仁(船橋LC)

1983.6 入会
1984~85 ライオンテーマ
1986~87 幹事

「完名美節を希う」
「改革元年」地区運営に、蛮勇を奮って出帆した小泉丸は名参謀木下L桜井Lで脇を固めた。生来怠惰、加えて気の多い私如きが副幹事という重荷を担うは戸惑いあるのみ。願わくば自分の及ばぬことに執着し、貧乏に求める情けないこの性情を断てる完名美節、試練の荒海であることを敢えて希いつ、舟底で犬馬の労に汗して、黒子に徹したい。



キャビネット副会計 L 藤代 誠(船橋中央LC)

1983~84 会計
1984~85 第二副会長
1985~86 第一 "
1986~87 会長
1987~88 前会長

徳ナルハ孤ナラズ 必ズ隣リアリ。ご縁から小泉ファミリーの一員として、お手伝いすることになりました。ガバナーの基本理念を正しく伝播するためには、補佐役の責務は重いものと痛感します。各ライオンの目からみて、キャビネットの動向が象牙の塔に映らないよう、人間愛溢る、奉仕への道が拓かれ、心豊かな稔り多き一年であることを念じて微力を尽す所存です。



キャビネット副会計 L 加藤 實(船橋中央LC)

1974.10. 入会
1976~77 理事
1977~78 理事
1978~79 会計

1980~81 第二副会長
1981~82 第三副会長
1982~83 幹事
1983~84 第一副会長
1984~85 会長
1986~87 ゾーン幹事

333複合地区 第35回年次大会

十日町で開催 1989.5.21



市川LC 会長L 久保田英雄

本年度、会長スローガンとして「心から心へ友愛と奉仕」を提唱しました。努力目標として①新会員の増強②楽しいクラブ運営。運営方針として①出席率の向上②語り合う委員会③新しいアクティビティの探求④アクティビティへの積極的参加⑤21世紀に視点を。



市川東LC 会長L 吉永秀年

本年5月の結成20周年記念式典のつどいには、ガバナーを初め多くのライオンズのブラザーの方々の出席を頂き有難うございました。この20周年の節目を契機に初心に返り、初代会長の方針『運営は小さく、アクトは大きく』をモットーにして、楽しいクラブ運営による出席向上と、地域社会への奉仕活動に務めたいと思います。



下総中山LC 会長L 大久保博

19年目を迎え会員間では今後の方針について、いい意味で激論が交されてなく、新入会員の期待も大きくクラブ運営も難しい時期にさしかかっている。

我クラブも今年から若返りの時代に入った。

私は日和見でなく自分の信念に従ってクラブをリードしていきたい。



浦安LC 会長L 篠原一彦

この度浦安ライオンズクラブの第17代目の会長と言う重責を担う事に成り其の責任の重さに身の引き締る思いを致して居ります。

歴代会長の輝かしい地域社会に密着し奉仕活動の実績を振り返りますとその偉大さにたゞ敬意を表する次第でございます。今年度もメンバー各位の一層のご協力をお願いする所存でございます。



行徳LC 会長L 陰山健喜

本年度は、CN10周年記念式典という大きな行事を迎え、これを契機にクラブ運営の活性化に取組、特別委員会を結成し、この実施運営をやっていきたく、と考えております。もちろん会員増強、退会防止、といった問題にも取り組まなければならないとも考えております。



市川北LC 会長L 浅海文雄

“友愛と奉仕”

会員の増強はもちろん、退会者の防止に努める。

実のあるACTを行う。1年先の10周年に向けてたのしい例会にし、出席をうながしたい。



浦安シーサイドLC 会長L 池田治郷

“ALWAYS NEW” WE SERVE
日々新たな気持ちで“WE SERVE”
いたし度いと思います。我ライオンズクラブは63年度はインターナショナルのライオンズクラブに飛躍いたします。



松戸LC 会長L 小林護

25年を迎えようとしている、古いクラブではありますが、新旧上下の隔たりのない、非常に風通しの良いクラブであります。メンバー間のフレンドシップによって結ばれた地域社会に密着した奉仕活動は、この風通しの良さにあると思います。此からも先輩ライオンの残してくれたこの遺産を大切に育ててゆきたいと思っております。



流山LC 会長L 佐藤清一

「愛と智恵で、育くむ無心の奉仕」のスローガンのもと、生まれたばかりのライオンズクラブと共に労力アクトを中心に推進する所存です。またウイサーブのためには会員同志が相互理解と友愛の深い絆で結ばれていなければならない、懇親をはかりながら、有意義なクラブ運営を心掛けたいと念願しております。



松戸中央LC 会長L 坂本政次

ガバナー方針に基き、クラブの活性化を計ると同じに、クラブメンバーの意志を尊重し。継続事業をも含め、新しい構想をも十分お聴かせ戴きながら、クラブ発展の為に努力する所存であります。YE生を通じての国際的交流と知識の向上を計る。青少年健全育生スポーツの助成。献血運動により生命の助成。敬老者及び身障者助成。



松戸東 会長L 田原俊夫

スローガン「真心で奉仕」
初心にかえり100%出席目標
メンバー各位の友情で、和をひろげよう
友愛と寛客の精神で、スムーズなクラブ運営
会員増強と退会者ゼロを目指す
青少年の健全育成をさらに推進する



野田LC 会長L 豊田正

本年度の方針は、活動の基本ともいふべき「例会出席率100%」を掲げ積極的な事業への参加を促進していきたいと思っております。また「友和の奉仕」をスローガンに温かい心のこもった奉仕活動の実践に努力務める所存であります。



松戸ユーカリLC 会長L 杉浦正八

「友愛の心で築く奉仕の社会」がクラブテーマであります。友達への親睦・友情を育てその心を奉仕活動の原点として、自分達の周囲や広く世界の恵まれない人々へ奉仕を積み重ねて行きたいと考えております。そしてこの輪を大きく、益々大きく手を取りあって明るい未来を目指して前進して行きたい。



柏LC 会長L 森下源

当クラブ22年の伝統を汚すことなく、国際会長及びガバナー方針を良く理解して、キャビネットの意向をメンバー各位に伝え、気軽に話し合い少しの前進、一步の前進を心掛ける。1.楽しい例会を心掛けこれを実行する。2.青少年健全育成を主体にアクティビティーを進める。3.継続アクトの見直しと新しいアクトの創造。



柏中央LC 会長L 伊藤博

「奉仕の輪 心豊かに 楽しい社会」13年目を迎える我々クラブのスローガンと致しました。72名の全メンバーが「胸に揚げたL字の誇り」を再認識すると同時に、厳粛なうちにも楽しい例会。各委員会を通じて、尚一層の相互理解・友情の絆を深めたい。微力乍ら全力投球いたします。



印西LC 会長L 吉田富勇

適正なクリアランス、高い圧縮比、強烈なスパークで期待致しましても、どうしても欠かせないものがございます。どんなアクトの言実行を宣言致すよりも、円滑な運営に必要な潤滑油を注ぎ尚、注いでいただき種々のアクトにアタックする所存です。しっかりした網の如く会長の立場として専念したい気持で一杯です。



船橋LC 会長L 三橋恒夫

第28代会長の大任を引き受けることになりました。「こころ豊かな愛と奉仕」をスローガンに、本年度は、地区ガバナー選出クラブでもありますので、幹事、会計共に、ライオニズムに徹し、我が伝統クラブに恥ないよう、一年間頑張ってまいりますので、どうぞ皆様のご指導、ご鞭撻をお願い致します。



鎌ヶ谷LC 会長L 山田貢

「積極参加で楽しいクラブ」楽しい例会を心掛け、会員の融和を図り、積極的に参加できるクラブ運営に努めたい。又、会員増強を目指し、新鮮なアクティビティを企画したい。



関宿LC 会長L 鈴木秀男

昨年チャーターナイトを迎え、二代目の会長を、御引受けすることになり、心身共に、引締る思いです。本年は、外にはライオニズの認識を高め、内には、委員会活動の充実を目指して行きたいと思ひます。先輩クラブの皆様、御指導御鞭撻の程を御願ひ申し上げます。



我孫子LC 会長L 千葉武司

今年度の目標としては、第1に会員増強と維持、次に出席率の向上に力を入れて行きたい、と同時に会員相互の和を大切に充実した内容のクラブでありたいと思っております。事業計画としましては市の青少年育成の為の助成また、チャリティゴルフの実施、YE生受け入れにと積極的に取り組んで行く所存でございます。



柏グリーンLC 会長L 小川茂

結成九年目どうしても御座成りになりかねない一年をどうして乗りきるかなやみが有りました。それがガバナーのスローガンにも有るように誇りを持って地域社会の奉仕に務める事とし。嬉しい事に1RRRCとPR情報委員の選出を頂き私のなやみも解消しメンバーの一層の協力を信じ会長職を全うしたいと思ひます。



柏オークLC 会長L 寺嶋佳一

「高めよう奉仕の心で豊かな知性」をスローガンに掲げ、今年度も奉仕活動が展開される、我オーククラブも5周年を迎えメンバー一丸となって、ガバナーが言われている胸に掲げたL字のマークが、ただのステータスシンボルでなくメンバー各自がL字の意義を再確認し、周年業事を成功に導きたい。



船橋中央LC 会長L 竹内真

この度、二十一代会長のご指名をいただき、その大役と重責に身の引き締まる思いです。全力を尽くして職責を全うしたいと思います。クラブの融和を計りながら活力ある活動をして参りたいと考えておりますので、ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



沼南LC 会長L 吉野勇

私のような非才の者が会長職に就くとは誠に恐れ多い事ですが、拝命した以上は「結果を出すぞ！」の意気で頑張って参ります。先づ第一に退会防止に心掛け、更には真のWe Serveを定着させる為は何でも話し合える楽しい例会に致します。また地域のニーズに応える奉仕活動をよく検討し、明確にして全員合意で推進します。



船橋ポートLC 会長L 嶋村 清一

心やすらぐ家庭と社会を//をスローガンに、この度、六代目の会長として出発することになりました。メンバー相互の信頼をより深め一人一人が、気づきの精神で、内部充実、楽しい例会、創意工夫のアクティビティ等、多数のメンバー参加で、クラブ充実を計りたいと、考えております。



八千代LC 会長L 秋葉 琢磨

「相互理解でWe Serve.」を会長テーマとしLionsの原点に学び、スローガン、モットー、ライオンズの誓い、道徳綱領をくり返し学んでいる。Lionsの全ての人に世界のHumanity、友愛がだんだん理解され、実現化されんことを望んでやまない今日である。



船橋京葉LC 会長L 石井 勝利

今年度の、私の目標は、楽しい例会づくりです。
クラブ結成時を、今一度思いだし、初心に戻って、楽しいクラブづくりに、つとめたいと、思っています。
全員の、ご協力、おねがいいたします。



習志野中央LC 会長L 安齊 順

昭和64年4月に5周年を迎えるにあたり、やはり一つの節目として、反省すべきは反省し、活性化の様努力します。そしてより以上の和をもって、5周年記念を迎えたいと思います。また、ライオンズクラブは慈善団体ではなく、社会奉仕団体の枠組の中で「地域のニーズに基づくアクト」を推進したいと思います。



佐倉LC 会長L 桜井 英一

ライオンズとは、最も崇高な人道的奉仕の理想に専念するライオンズの連帯意識であると言われます。我がクラブも、会員相互の融和を図り絆を強め、地域社会に密着した奉仕活動を展開する考えであります。また結成後20年余を経て、会員も減少傾向にある現在、新会員を増強し体質の強化に努力して行く方針であります。



酒々井LC 会長L 高須賀 辰之助

2年目を迎える若いクラブなので、多くを望むのではなくライオンとしての自覚と誇りを持った実践行動で、身近な奉仕活動に努める様、全会員の力を結集して行きたい。



習志野LC 会長L 卯木 基夫

習志野LCは、前年度満二十周年を迎える事が出来ました。これも皆、立派に年度年度を支えて来たクラブの人々のお蔭と感謝して居ります。この友情を末永く前期に増してお願い致します。私のスローガンとしては、「小さな目標、皆んなで奉仕」今一度原点に戻り良き事は継続、又新たにより良き事業を生む事を目標とします。



2R2Z船橋東LC 会長L 萩原 巖

「広げよう、友情の輪で奉仕の輪」伝統ある誇り高い多くの継続アクトを、更に発展向上させ、全会員の叡智を結集、新しい奉仕活動を研究し開拓推進したい。クラブに於ける活動の原点は、例会出席であり、出席率100%をめざし、自由で知性を高め、より格調高き例会を維持し、クラブライフを楽しめる様、努力したい。



船橋北LC 会長L 初谷 昌彦

わがクラブもつい先日5周年を迎へ、友愛、寛容、奉仕、をスローガンにして参加する喜びを味わい年々活発になってきました。今年もかたのほらない楽しい例会を作りメンバー同志の親睦を図りゆたかな心で新しい活動に邁進したい。



成田LC 会長L 太田 家廣

1. 友好、親睦を軸として、クラブライフを楽しみ乍らのクラブ運営。
 2. メンバー各自の自覚と精進により、見識を深め、クラブモラルの高揚と、魅力あるクラブ作り。
 3. 潤いある豊かな、精神生活の推進。
- 上記の三つを三本柱として、クラブ運営に当る。



四街道LC 会長L 井岡 四郎

昨年CN20周年終了後のあとをバトンタッチして、や、もすると沈静化するクラブの活性化を図り、「胸に掲げたL字の誇り」をメンバーの一人ひとりが自覚できる楽しいクラブ・ライフの実現に努力してまいりたいと思います。



千葉LC 会長L 椎名 益男

25周年を契機にLCの内容に目を向け、厳しいながらも以外にLCを高く評価して下さって居る一般社会の期待を裏切らないよう、LCは紳士の集まりであると言うプライドと自覚を常に持ち、Lのマークを大切にしながら、都会的なスマートな品格のあるハイレベルな雰囲気を持った千葉LCでありたいと思います。



千葉中央LC 会長L 桑田 昭

会員は年齢、職業、経歴等を超越し相互の人格を認め合い、和を重んじ個人では享受できないクラブライフをエンジョイできるように努める。身近な地域社会に密着した奉仕活動を目的とし、重点的に一つの大きな目玉的事業を企画、実行したい。日本の国際的地位の向上から顧みて、外国留学生に暖かい援助の手を差しのべたい。



千葉ポートLC 会長L 長井昌夫

会長へと指名を受けて後、自分が会長として、あれも、これもやってこの様な運営をして行きたい等、いろいろと頭の中を駆けめぐったものですが、冷静になってみて、結局は今までの自分のクラブに対する考え、接し方、等をむりに変える事なく、自然体で自分の責任をはたして行こうと、決心して進んで行くつもりです。



千葉エコLC 会長L 村田 義一

歴史ある千葉エコLCの会長の責の重大さを痛感して居ります。物質に恵まれた最近、人の心が忘れられた様に思われ精神的豊さを追求し心豊かに愛ある奉仕、をモットーに、思いやり、融和の気持ちを大切に、真にもとめられる奉仕活動が出来ます様、頑張るつもりです。この一年なにとぞ会員皆様のご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。



千葉京葉LC 会長L 加瀬利之

本年度クラブ運営に当り強く提唱したいことは和と協力ということ。モットーである We Serv もメンバー全員の和と協力関係があって初めて実践が可能であると思います。そのためには、お互いが心を開いて常に話し合い、相互理解を図って行くように、心掛けたいと考えています。



佐原LC 会長L 小笠原和雄

会長スローガン「原点に立ち価値ある奉仕」
年度目票として
①個々がリーダーである事を自覚し、責務の追及 ②出席率 100%
③友愛の和を拡げて知性の高揚に努める ④青少年健全育成の推進 ⑤ライオンズのためのライオンズの例会作りに努力を惜しまず



神崎LC 会長L 巻嶋一成

今年度、会長を仰せつかりました。もとより浅学非才その任にあらずですが懸命に努力する覚悟です。私はライオンズの原点は愛であると思います。愛は会員の相互理解と団結のきずなを強め、さらに知性と奉仕に支えられた活動へと発展します。この実践こそライオンズ会員の使命であると確信します。本年度よろしくお願い致します。



千葉若潮LC 会長L 松永良夫

会長に指名され身の引き締まる思いで一杯です。クラブ名の如く若々しい力と情熱に溢れる行動力を今後にも十分に発揮し、3役スクールに於けるガバナー方針であるライオンズメンバーとしての内面的な充実を図り、クラブ活動の活性化を実行したいと思います。



市原LC 会長L 根本博治

来年は25周年を迎える時期でもあり、本年は会員の融和団結を大切に相互理解と友情、楽しく活力ある例会を念頭に、各委員会活動を充実、軌道にのせ、クラブの活性化を図り地域社会に密着したACTを実施したい。
私は経験も浅く心もとないが、誠心誠意全力投球で悔のない一年を過ごしたいと考えています。



市原南LC 会長L 常澄治男

市原南ライオンズクラブは、地区スローガン、ガバナー方針を基本にして、地域の実状にそくした、効果的な運営を図り、ガバナーのアクティビティー「高めよう心豊かにL字の誇り」をめざして健全な青少年の育成と、社会奉仕活動を積極的に展開推進する。特に今年度は市原南ライオンズクラブの育成には積極的な支援をする。



銚子LC 会長L 豊福和磨

青少年健全育成活動に対する助成を主体に、会員増強は勿論、退会者の防止に努め、健全な財政確立を計り創造的且また画期的な運営を図る。今年度は当クラブが25周年の節目に当たる年であり、視野を広め国際的奉仕の一環としてLCIFの献金に力を入れたい。



東庄LC 会長L 高木源三郎

「伝統を明日の力へ」
20年の伝統を踏まえ、心を合わせ「L字の誇り」にふさわしい自覚と活動を通して、より質の高い東庄ライオンズクラブの発展を期したい。



大栄LC 会長L 山倉 敬

1988～89年大栄LC会長を務めることになりました。会長を引受けますと、直ちに1年間の抱負と云うことになりましたが、抱負と云うより、私はこの1年間どのような会の運営をするかと云うことに非常に難しさを感じております。そこで私なりに整理し、目標を定め、その実現に努力する。このようにして一年間会員の協力を得て、会長の職務を全うしたいと思います。



栗源LC 会長L 伊藤 正毅

昭和20年終戦末期、私が満19才で徴兵検査に甲種合格で入隊した時、部隊長命で一日一善と云う事が実行されていた。毎日必ず一つ以上善い事をして、日記帳に記帳しておき後で班長の検閲を受ける仕組みを作っていた事を思い出す。人の偉さは如何に世の中に奉仕したかに尽きると云われます。小さな奉仕の積み重ねが大切だと。



旭LC 会長L 林 正樹

本年度のクラブ運営の基本にクラブスローガンを新設しました。それにより、更に充実した旭ライオンズクラブを目指して情熱を傾けて行きたいと思えます。

旭クラブ スローガン
「楽しく集い、知性を高め、心からの奉仕をしよう！」



飯岡LC 会長L 尾上 巧光

クラブ運営については、出席率を向上させる為に、各委員会毎の連絡を密接にし、例会出席につながる様に様々な提案をしてもらい、明るいごやかな例会にしたい。

アクトについては、ガバナー方針の通り、常に豊かな心を持ち、ライオンズクラブに誇りを持つ様な、継続事業を中心として行っていきたい。



干潟LC 会長L 高山 四郎

今回干潟LC会長として、1年間その任に当ることになりました。浅学非才を顧みず、優秀なスタッフと40名の強力な会員の後盾により、微力乍ら全力で当る覚悟です。

We Serve は会員の融和から。7代干潟LC会長が方針としてきた友情・親善・相互理解により、クラブ又、会員間の融和を図り、楽しいLCにしたいと思えます。



光LC 会長L 大木 啓治

結成以来三年目に入りますので、その事を基本に活動を展開してまいります。

- ①新入会員増強について～3名増の25名を目標とする。
- ②家族の理解を得、クラブの和と楽しい例会を目指す。
- ③各委員会活動の尊重と活発化
- ④クラブ会報 以上目標に努力いたします。



木更津中央LC 会長L 花澤 昭

チャーターナイト20周年も2年前に祝い、当クラブの伝統も確立されつつあります。歴代会長の運営方針を継承し、継続アクトを実施する。会員の増強も図りつ、財政基盤も確立し、新たなアクトにも対応したい。ともあれ、会員相互の信頼と友和をモットーにたのしいクラブライフとしたいと思う。



八日市場LC 会長L 佐久間 隆

ガバナー方針である会員は、すべてグッド・スタンディングにクラブの活性化をはかり、会員増強とドロップアウトゼロの実現を目指しています。

又、地域住民の理解度を高め、青少年の健全育成、障害者の社会参加をはじめ、地域社会のニーズにあった、心のこもった奉仕活動を実施してゆきたいと思えます。



総武中央LC 会長L 石田 健二

ライオンズクラブはウィー・サーブで始まり、ウィー・サーブに終るそんな生活の中で今迄はこの二文字について、言葉どうり受けとめて来たのですが、会長という立場で考えた時、今程その言葉の重大さを強く感じたことはありません。それを単なる言葉としてではなく、身体で知ることこの一年間を通じ、一生懸命努力する所存です。



多古LC 会長L 土井 明

多古LC第21代会長に就任。本年度結成20周年式典を予定している事で、責任の一層の重大さを感じ、スローガン、モットーを見直しています。ガバナー方針に則り、心豊かな優秀なクラブ員の増強に力を尽くし又、会員相互の親睦を図り、参加するACTに一層の努力を重ねたいと思えます。



山田町LC 会長L 猿田 吉治

会長指名を受け、身の引き締まる思いで一杯です。未熟者でございますが、山田町LC来年度10周年記念に向けて、クラブの活性化体制を考え、そして「愛と和」を基調としたクラブ運営、地域密着のACT事業推進、クラブ間交流を行い友好、理解を深め、又、例会は楽しく、全会員の御協力と御指導を宜しく、お願い致します。



木更津LC 会長L 伊藤 正章

5R内でも最も古いクラブであり会長を引き受けて身の引き締まる思いです。古い体質があるとすればそれを皆で考え又、新しいメンバーにはライオンズの本質を理解していただき、古きよきものと時代に沿った考え方を調和させ、創立の原点にかえった気持ちで協力しあい、少数でも成果のあがる運営及び活動をしていきたい。



袖ヶ浦LC 会長L 尾形 勝彦

クラブ会長としての重責を痛感しながらも、先輩の築き上げてこられた伝統を守り、尚一層充実したクラブとなるよう微力ながら努力したいと思えます。それには、ガバナー方針である「L字」の重要さを自ら再確認し、会長方針 広き心と愛の奉仕で輝け「L字」と致します。

皆様の御指導をお願い致します。



木更津金鈴LC 会長L 佐久間 義徳

ガバナー方針を受け、ウイ・サーブをかせ、本年度クラブ結成20周年を迎えて、地域社会と奉仕の輪を広げ、ブラザークラブとの交流と国際感覚のふれ合い、委員会活動の活発化をはかり、労力アクトを通じて青少年健全育成を図り、楽しい例会を運営して行きたい。



富津LC 会長L 鹿島 久良

会長方針として「抜けよう、愛の心で奉仕の輪」及びACTスローガンとして「ふれあいの心で築こう明るく社会」を掲げ、会員相互の融和と団結によりライオンズムの原点「愛の心」を燃焼させて、クラブの活性化を図り、クラブ運営や奉仕に、邁進したいと思えます。



上総LC 会長L 相川 千代治

やさしい人に出逢うより、やさしい人になりなさい。或るテレビのコーナーであるが心を打たれた。私たちは豊かな物質の中に埋没しマスコミに酔わされ、ともすれば自分を見失いがちではないだろうか。豊かな心の持ち主になって、自分の生き方をしっかり考え、一日一日を大切に生きていきたいものである。



君津LC 会長L 廣部 辰雄

前年度CN20周年を終え、この21年目をクラブ結成当時の初心にかえて、委員会活動の活性化を促し、例会を『全員出席のユニークな例会』をあい言葉に、定形例会からの脱皮を図りたい。また、君津の地域特性から、新たなアクト『国際協調』をネスクラブの応援を得ながら創造してゆきたい。



君津中央LC 会長L 梶尾 武司

「L字の誇り」の理解を全会員に展開致します。魅力あるLマンが集まれば魅力ある例会になり、良い話や良い事等を期待して出席する訳で、楽しい例会にしたいのです。いやな思いをする為にLマンになった訳ではないのです。次期会計がこう言ってくれました。うまくやろうではなく「一生懸命」やろうと。3役は和でガンバリます。



館山LC 会長L 吉田 一夫

私はこのたび、皆様の御推挙に依り会長に就任いたしました事は、身にあまる光栄の至りでございます。誠に無智無能で十分な御期待に添うことは出来ませんが、ライオンズの精神に基づき、会員の和はもとよりこの一年間、We Serveで努力する次第でございます。皆様方の暖かい御指導、御支援を心からお願い申し上げます。



鋸南LC 会長L 川名 貞雄

名委員会の事業計画の完全実施に務め、全員の保持融和を図りアクティビティは、継続事業を優先し楽しい例会、意義あるACTに務めたい。それにはクラブ全員の出席率を100%に保ち家族の理解をも深めるためアイディアとして結婚記念日に花束を贈るなどをし、全員の出席をうながしライオンズマンとして、地域社会に協力し当クラブの発展に頑張りたいと思っています。



館山中央LC 会長L 外山 庄次

本年当クラブは20周年記念行事があり、メインがどうしても周年事業にかかわる事になります。よって周年の運営は、ガバナー方針にもある如く、合理化節約をモットーとしてメンバーの過重負担を避け、そして且、出席率向上を図るため、例会及び事業は各委員会の担当として、全会員の手づくりで運営して行く予定であります。



館山北LC 会長L 高橋 正爾

会員相互の融和を図り、クラブを強化する。環境も職場も職種も違う方々ですが、然し乍ら奉仕の心をもった善意の人達の集まりで、いわば同志です。その同志が目的を遂行するには互いに理解し、親切に心よく接し、良き友として、融和を図ることが、活気となって現われ、業績を伸展させ、クラブの発展につなげます。



館山南LC 会長L 鈴木 忠夫

会員相互理解と融和を心として、引継がれて来た代々会長方針であります。其の結果、新会員6名と言う偉業を成し遂げました。まだ未熟な私ですが、伝統ある当クラブの自主性を尊重し、会員各位の御指導と協力を得ながら一層の団結を図り、地域独自の必要に応じた奉仕活動をして任期を全うしたいと思えます。



鴨川LC 会長L 相澤 公二

鴨川LCの実績をふまえ、地区ガバナーの方針をうけ、次の点を特に重点としたい。
 1. 出席率の向上(楽しい実のある例会・緊密な連絡)
 2. 継続アクティビティの充実
 3. 委員会活動の充実
 4. 会員増強



房州白浜LC 会長L 早川 秀夫

一年間のクラブの目標を綿密に計画、リーダーシップを発揮し、親睦とチームワークを大切にしてく、又、奉仕の精神に徹して、この一年間を皆様方のご指導を頂き、微力ながら日々前進、全力投球をしてみました。よろしくお願ひいたします。

房州朝夷 L C 会長 L 佐藤 繁 美



奉仕の心を持つ人を理解し、個人の経済的報酬なしに社会に奉仕する事を目的とし、入会を勧めライオンズを十分に理解し、新会員を迎える。クラブ例会では、新会員を中心とした楽しい例会を行う。会員増強に全員で協力する。

茂原 L C 会長 L 河原 滋



C N 25 周年の意義ある年の会長に指名され、その名誉と責任の重大さを痛感し、男のロマンを掛けて、会員の友愛を更に深く、地区憲章を尊重し、ガバナー方針の「L 字」の誇りを基本に 1. 例会を楽しく出席率 100% に努め、2. 会員維持増強を図り、3. C N 25 周年を成功裡に終らせ、会の発展のため優秀の美を飾りたい。

茂原長生 L C 会長 L 吉田 芳 雄



昨年 20 周年を経過した当クラブは初心に帰り、ウイ・サーブの基本方針に立戻り、A C T に努力し出席率 100%、及び例会の活性化を図り、楽しく充実した例会にしたい。次の継続事業の実施、①青少年健全育成柔剣道大会、②年 2 回の献血、③姉妹クラブとの青少年健全育成交歓会、④ボーイスカウトへの A C T、⑤会員増強、退会防止

長南 L C 会長 L 石川 政 司



このたびクラブ会長に選任され、任務の重さを痛感しております。1 年で会長のカラーは、なかなか打ち出せないが、どの程度打ち出せるかまたメンバーの評価をどの程度得られるか、努力してまいりたいと思います。地区ガバナー及びキャビネットの皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

東金 L C 会長 L 榊原 吉 男



楽しい集い、積極的奉仕をモットーに、三つの方針を掲げ、①会員増強に重点を置き、クラブの充実、②魅力ある例会運営と真心を込めた奉仕、③継続 A C T の一層の充実、を通じて、地域社会から信頼されるクラブ運営に努める。

九十九里 L C 会長 L 阿部 倉 健 司



10 周年を一つの節として原点にかえり、奉仕と友愛の精神をもって会員一丸となり、地域発展のため努力したい。

房総勝浦 L C 会長 L 元吉 孝 三 郎



活気ある前年度のクラブ運営を引き継ぎ、又明年 6 月に予定される 20 周年記念式典を頂点とする、拡大発展を図る。
特に魅力・活力・行動力ある若き「L」の獲得に勉め、その会員増強の成果によって、クラブ会員 70 名突破を目標とする、新しい時代の実現を想定します。

上総一宮 L C 会長 L 飯島 悠 次



本年度地区アクティビティスローガンである「高めよう心豊かに L 字の誇り」の再確認をしながら、友情の輪を広げ、楽しい例会、メンバーの健康管理に重点を置き、ライオンズクラブの基調である事項の推進とクラブの活性化に努力し、魅力あるクラブとして、評価されるよう活気ある運営を図りたいと思います。

白子 L C 会長 L 御園 要 一

例会においての食事の時間を多くとり、会員同志の話し合いの場として利用したい。

長柄 L C 会長 L 半澤 清



私どものクラブも、茂原長生ライオンズクラブをスポンサークラブとして結成いたしました。この間ブラザークラブ立会いのもとに、認証状伝達式も終了し、ようやく一年を迎えることができました。しかしながら日も浅く、会員も減少しておりますが、目下、会員増強について会員一同は、意を新たにして組織の強化を図り併せて本来の奉仕活動に意欲を燃しておりますので、御指導賜りますようお願いする次第であります。

大網白里 L C 会長 L 中嶋 敏 夫



前年度 4 月、設立 10 周年を大過なく迎え、今年度不肖私は 11 代目会長として 10 年の節目を契機に、「初心を忘れず」との言葉がありますが、クラブ設立当初、会員一同隆起提唱した、「地域社会の皆様との触れ合いを大切に活動するクラブ」を、モットーに更に当クラブの確固たる奉仕活動を目指し、初心を忘れず鋭意努力します。

成東 L C 会長 L 岩崎 光 一



会員相互の交流と親睦を深め、和やかな楽しい例会作りに意を注ぎ、出席率の向上とクラブの強化充実を図るために、背伸びのない地に足のついた運営を心掛け、地域に密着したアクティビティを、実施してゆきたいと思います。本年度の活動基本方針として、ライオンズ精神の原点にかえる。



流山LS 会長LS 水野愛子

会長方針としまして、「汗と笑顔が結ぶ・心の和」とし、愛情のある努力奉仕を計画し、又、地域の為に何が出来るかと意欲的に取り組んでいる毎日でございます。

まだ微力なクラブですが、1人1人の心を大切に、少しの前進、より確かな前進で組織を作り、地域社会に信頼されるクラブとして成長する様に精進して参ります。



船橋中央LS 会長LS 藤原和子

船橋中央LS 11代会長という大役をお受けする事になり、日々身の引き締まる思いでございます。何事も初心に返り奉仕の心・和の心・楽しい例会・対話の心をモットーに一年間を頑張って行きたいと思っております。今期も同様献血・肢体不自由児・豊寿園・緑の基金他5項目の継続事業を行い、主として老人対策にダンスパーティーを行います。



市原南LS 会長LS 長峰ユミ

市原南ライオネスクラブは、ボンサークラブの市原南ライオンズクラブと一体となって、地域の実状に即した効果的な運営を図り、ガバナーのアクティビティ「高めよう心豊かにL字の誇り」を目指して、社会奉仕活動を積極的に展開推進します。尚本年度は地区内ネスクラブとの交流を深め、親睦の増進と研鑽に努めて参ります。



千葉京葉LS 会長LS 武石美代子

千葉京葉ライオネスクラブも今年度が10周年でございますので、実のある1年としたいと思っております。

「活気のある魅力あるクラブ」「奉仕活動の充実」の方針で、メンバー増、地域社会に心のかようアクティビティを行い、奉仕団体としての本質をわきまえた活動をしてまいりとうございます。



袖ヶ浦LS 会長LS 安田尚子

今年一年間、会長責任として親クラブとの奉仕活動を柱に、今まで継続されてきました事業、例えば地域の皆様ブラザークラブの皆様の御協力によってチャリティーダンスパーティーを通して親睦を計る事、町への奉仕協力をメンバーの協力によって行い、奉仕の輪が広がっていきまよう努力したいと思っております。



木更津金鈴LS 会長LS 梅津末子

9代目の会長を引き受けることになりました。もとより力不足は承知しておりますが精一杯努力はいたします。

初心忘るべからずと申しますが、私達も今一度原点に帰りまして、We-serveの意味を噛みしめ一つ一つの目的に向い、ネスクラブメンバーとしての誇りを持ち、着実に進んでゆきたいと考えています。



富津LS 会長LS 手塚きく

モットー「楽しく集まり、やさしい奉仕」

クラブを結成して4ヵ月目で、まだ一人歩きもできません。今年度は会長方針として表記のものを掲げました。とに角、会員の親睦を図り、女性らしいやさしい奉仕を考えたいと思っております。

キャビネットの皆様の、御指導をお願いいたします。



君津LS 会長LS 糟谷秀子

私達ライオネスクラブの会員は、それぞれ生活のための仕事を持っています。その仕事が無ければ奉仕に割ける労力も時間も生まれません。あくまでも各自の生活や仕事が無事に営まれたうでの奉仕です。無理をしたら奉仕も長続きしません。

よい仕事をして生活を安定させ、そして「健康で良い仲間とよりよい奉仕をしましょう」



君津中央LS 会長LS 大塚なみえ

私達クラブは、6年目という歳月が流れようとしています。この度、会長を務めさせていただき事になり、その真任の重大さを痛感しております。親クラブはじめ、ネスクラブ会員の皆様の御指導をいただきながら、人と人との出逢いを大切にして、心の通う奉仕活動に努力したいと思っております。



館山LS 会長LS 松尾千恵子

結成十年を迎えた私達のクラブのスローガンは、「地域に融けこむ思いやり奉仕。」老人を対象とした女性ならではの奉仕を中心に、十周年の記念事業を行うことにいたしました。メンバーが一丸となって、形式にこだわらない質素で和やかな集いをもちたいと思っております。そして歴代会長が大事にしてきた「会員の和」を私も引継ぎ少しでも前進できたらと考えております。



鴨川LS 会長LS 戸村琴子

本年度として昨年と続き身体障害者のキャンプの手伝い、世界ライオンズ奉仕デー、ゴミナシデー等々奉仕による事業に従事するのに併せて、会員の和を深める為の催しを実施してクラブの楽しい場を求めたいと思っております。尚「美化」という二字をモットーとしてこれは各クラブ員の各自の考えです、めたいと念じております。



銚子LEO 会長Leo 田中 実

会長になっての1年間の抱負は、まず始めに会員増強に務めることです。

また、他クラブとの交友を深め、合同で例会やアクトができればいいなと思っています。

他にもやりたい事はたくさんありますが、この1年間をみんなで力をあわせ充実したものになりたいと思います。

LEO 会長



富津LEO 会長Leo 曾子 学史

メンバーが、楽しく集える場として会員の増強に心がけたいと思っています。又、親クラブからのご指示を受けながら年間行事にも進んで参加し、レオクラブ活動を更に活性化できるように、奉仕活動はもとより他のクラブとの交流の輪をもっと大きく拡げて行きたいと思っています。

一年間頑張りますので、宜しくお願いします。



君津LEO 会長Leo 松本 花子

今年の方針

新役員、新会員を迎えた君津レオ。今年こそ、会員の全員集合を目指したいと思っています。集団で行動するのはとても難しいことですが、その中で一つやりとげることによって少しずつ成長していくのだと思います。だから、レオのみなさんきちんと例会には出席して下さいね。



館山LEO 会長Leo 川上 雅之

館山レオクラブは、結成2年目に入り、その2年目の2代目会長として、はりきっている私です。しかし、今年は去年まで会長だった曾我部君がいなくなり、どんな事をやったらいいのかわからなく、まだまだ未熟で失敗することもあると思いますが、ライオンの方々に助けてもらいながらがんばっていきたいと思います。



We Serve

第1回キャビネット会議

ガバナー 提出議案

1. 地区会計監査委員委嘱の件

複合地区会則第25条第4項により下記Lに監査委員を委嘱したい。

L 多田 辰雄 (袖ヶ浦)

L 池田 忠二 (市川)

〔決議〕原案通り了承可決

2. キャビネット会計の業務執行に伴う担保提出を免除する件。

〔決議〕原案通り承認可決

3. 青少年健全育成の重要性に鑑み、青少年育成資金については前年度に引きつづき地区内全メンバー一人当たり1,500円を拠出し、その円滑な運営を計りたい。

〔決議〕原案通り承認可決

4. LCIFの強化運動について

国際協会プログラムを尊重し、LCIF強化のため、メンバー一人当たり\$10以上の献金を願いたい。又、各クラブより、1人以上のメルビンジョーンズフェロー(\$1000献金)受賞に御協力願いたい。

〔決議〕原案通り了承可決

5. 世界ライオンズ奉仕デーについて

10月8日の世界ライオンズ奉仕デーによる地区内各クラブはメンバー全員の参加による奉仕を行い、この日の意義を一層昂められたい。

〔決議〕原案通り了承可決

6. 旅費規定、慶弔見舞金規定を別紙資料の通り定めたい。

〔決議〕原案通り承認可決

7. 本年度アワード規定について別紙資料の通り定めたい。

〔決議〕原案通り了承可決

8. 333-C地区第35回年次大会開催について、下記の通り実施したい。

日時 1989年5月14日(日)

場所 船橋市

〔決議〕原案通り了承可決

9. (財)千葉県アイバンク協会理事長からの要請に依り、当地区から7名の評議員を推せん、派遣することに協力したい。

〔決議〕原案通り了承可決

※ 別紙資料については各LCへ配布済



We Serve

委員長提案事項

PR情報委員長 L. 小石 税

1. 本年度地区会報の標題を333-C地区ニュースとしたい。

ニュースの持つイメージを損わないよう、内容の漸新さを考慮されることを希み……了承一

2. 費用軽減のため、広告の掲載は如何

ライオンズ会報としての品位を重んじ、ライオンズクラブ内外の批判の対象とならないよう留意されることを願う。

国際協調YE委員長 L. 山内克己

1. 地区のYE活動の活性化促進のため、従来の複合地区主体型から分離させ、地区単独でYEプログラムを遂行出来るように、意識の変革を含めて、抜本的改正を要望する。

2. YEプログラム進行途次、万一事故が発生した場合には、災害緊急援助資金やYE関係資金を以って、一時流用出来るよう特別処置の出来るような柔軟な姿勢がのぞまれる。

以上の提案説明を了承し、今後長期的に研究する。

地区行事予定表

1988. 7.~1988. 12.

Table with columns: 日, 曜, 時 間, 事 項, 備 考. Contains monthly event schedule for 1988.

Table with columns: 日, 曜, 時 間, 事 項, 備 考. Contains monthly event schedule for 1988, including regional and international activities.



We Serve

9	28	水	18:00~21:00	内局会議 高校弁論大会	船橋市
10	1	土		地区ガバナー公式訪問	3 R-3Z
	2	日		*	3 R-1Z・2Z
	5	水	18:00~21:00	内局会議	船橋市
	9	日		地区ガバナー公式訪問	1 R-1Z
	12	水	18:00~21:00	内局会議	船橋市
	19	水		*	
	22	土		地区ガバナー公式訪問	1 R-3Z
	23	日		*	2 R-1Z・2Z
	26	水	18:00~21:00	内局会議	船橋市
	30	日		地区ガバナー公式訪問 Y E・O B会議	1 R-2Z
	予	定		L・Sクラブ連絡会議	各クラブより報告
11	2	水	18:00~21:00	内局会議	船橋市
	5	土		千葉L.C. 25周年	船橋市
	9	水	18:00~21:00	内局会議	C A B事務局
	10	木		地区Y E委員会	
	12	土		柏オークL.C. 5周年	船橋市
	16	水	18:00~21:00	内局会議	船橋市
	24	木		冬期Y Eホストファミリーオリエンテーション	
	27	日		東庄L.C. 20周年	船橋市
	30	水		内局会議	船橋市
	予	定		L E Oクラブ顧問打合せ会議	
12	4	日		'89夏期Y E派遣生選考会	船橋市
	7	水	18:00~21:00	内局会議	船橋市
	8	木			香 港
	11	日		東洋・東南アジアフォーラム	
	14	水	18:00~21:00	内局会議	船橋市
	21	水		*	
	22	木		'89夏期Y E派遣生決定	

ガバナー公式訪問日程表

月	日	曜	R	Z	クラブ数	ク ラ ブ 名
9	4	日	5	1	4	木更津・木更津中央・袖ヶ浦・木更津金鈴
				2	4	富津・上総・君津・君津中央
	11	日	6	1	5	館山・鋸南・館山中央・館山北・館山南
				2	4	鴨川・房州白浜・房州朝夷・房総勝浦
	18	日	7	1	6	茂原・上総一宮・茂原長生・白子・長南・長柄
				2	4	東金・大網白里・九十九里・成東
	23	祝	4	1	6	銚子・佐原・東庄・神崎・大栄・栗源
				2	8	八日市場・旭・総武中央・飯岡・多古・干潟・山田町・光
10	1	土	3	3	4	市原・千葉エコー・市原南・千葉京葉
	2	日		1	4	成田・佐倉・四街道・酒々井
				2	4	千葉・千葉中央・千葉若潮・千葉ポート
	9	日	1	1	7	市川・市川東・下総中山・浦安・行徳・市川北・浦安シーサイド
	22	土		3	6	柏・我孫子・柏中央・柏グリーン・印西・柏オーク
	23	日	2	1	5	船橋・船橋中央・鎌ヶ谷・沼南・船橋ポート
				2	6	習志野・八千代・船橋東・船橋京葉・船橋北・習志野中央
	30	日	1	2	7	松戸・流山・松戸中央・松戸東・野田・松戸ユウカリ・関宿

手塚前ガバナー挨拶



地区ガバナー小泉L挨拶



▼年次大会
高橋委員長へ
ガバナーより委嘱状

▼メルビンジョーンズ
フェロー賞贈呈

▼RC会議
議事運営会議



年次大会委員会▶

Y E委員会▶



▼Z C会議

▼地区青少年対策・
LEO-LS委員会

▼PR情報委員会





「YE生サマーキャンプに参加して」

YE OB会長 小石 太郎

英語もろくに話せない私がYEのOB会長というわけで、世界各国から千葉へやってきたYE生をまとめなければいけないという、大任務をせおってしまいました。

今年のサマーキャンプではアメリカからの学生の一部が、大阪の第二ホストのもとへとすでに行ってしまった関係で、例年よりもヨーロッパからの学生のしめる割合が多いものとなりました。そのせいかYE生全体の雰囲気も、例年とは違ったものが現われていたように思います。例年ではアメリカからの学生数が多く、パワースタイルとした、いかにもアメリカ的なエネルギッシュな学生が多いのですが、今年はどちらかというと、皆おちついていて、大人っぽい学生が多かったように思います。また彼らはわがままを一言も言わず、英語がしどろもどろの私に対しても大変協力的で、和を乱すこともなく、皆でサマーキャンプを楽しむことができました。

333-C地区のYE OB会は、YE生としての派遣後、3年間は誰もが属することになっており、YEプログラムの実施に協力することを目的としています。

毎年このYE OB会が中心になって、YE生が国ごとバラバラになったりせず、皆一緒に楽しめるよう、そして楽しい日本での思い出を持ち帰ってもらおうと、ゲームやキャンプファイヤー等の企画をたて、サマーキャンプを盛り上げています。ところが、サマーキャンプに参加するOB生というのが、人数制限の関係で限られた人しか参加できていません。それに、OB生どうし海外派遣後はほとんど会う機会がないので、夏が近づくといきなり初対面同然の状態でキャンプの打ち合わせをしています。帰国後、OB生全体が集まり、話し合いや親睦を深め合える機会を多く持つことが、私達OB会としての今後の課題であろうと思います。

地域によっては、クラブ単位のOB会をつくり、OB生の友人もあつめてミーティングやYE生とのパーティを開いたりしているそうです。また関西のほうではOB会の活動が大変盛んに行われているということを、耳にしたことがあります。OB会の充実は、まさにYEプログラムの充実につながると言っても過言ではないと思

います。サマーキャンプの閉会式の後、YE生が次々と私の所へ握手を求めて来てくれました。YEプログラムの重要性を、考え直させられた、サマーキャンプでありました。



YE Summer Camp

地区国際協調・YE委員長 L. 山内 克己

Summer Camp が終わると、我々は台風の目の中に入り、一時の安息をおぼえるが、すぐに帰国生の送迎の嵐がやって来る。好きでなければYEは動まらない。

今年も小泉ガバナー、高木RC、石井、北沢両ZC、黒沢富津市長に御参加をいただき、富津岬荘で、YE生14名迎え総勢60名にて2泊3日のSummer Camp が行われました。

来日以来苦勞して話すのと違い、存分に英語が通ずる



We Serve

友人、男女が集まるのだから其の歓声は大変なものである。あまり固い事は云わず目を瞑る。ただ事故のない事を祈りて、でも我々は睡眠不足からくる疲労は極限に達する。若いつもりでもシルバーエイジではとても若者のエネルギーにはついていけない。

幸いにも連日の雨空も8月3、4、5には夏空に逆り、バーベキュー、キャンプファイヤーにと、つつがなくプログラムを消化する事ができた事を神に感謝する。最後の夜ファイヤーを囲み若者にまじり、シルバーのおじさま方のフォークダンスは、さぞかしさまになっていた事だろう。やがては去って行く若者に開会式の時、私は数多く有る日本文化の中から一つでもよいから勉強して欲しい、それが次代の者達の友好に役立つ為にとお願いした。このCampにて各国の若者達と話し合った中で、我々の反省材料を数多く勉強した。其の中の一つに万国旗の事が有る。Opening Ceremony Place に万国旗を吊つたのだが、キャビネットに世界各国の旗は無いのだが、フランスから来日した David Laurent に痛烈に抗議さ

れた。何故に私の国の旗を歓迎を込めて吊してくれなかったのだと、此れは小さな事だが非常に大切な国際感覚の常識欠陥であったと反省している。ただ飾用の感覚で吊るのではなく、訪日して来る国の人の国旗をなぜ用意しなかったかと、国際交流が盛んになった現今、YE生をクラブ例会に招待する時などには、ぜひ其のYE生の国旗を用意して、歓迎して下さい。初歩的な国際常識です。

デンマークから来日した Majbritt Sorensen は、日本人の夕食は食べるだけの席で、食べる事の楽しみ、喜びを感じさせない。15分もすると皆席を立ってしまう。何時、家族の団欒時間を作るのだ。デンマークでは一時間以上もかけて家族で食事を楽しむのにとのこと。日本人の食生活に何時、このようなゆとりができるのか。

最後に、富津市長をはじめ5Rの会長、メンバーの皆様、この Summer Camp が成功したのも皆様の御協力の賜ものと厚く御祈申し上げます。YE委員の皆様、御苦勞様でした。



We Serve

LEO・LS NEWS

レオクラブ夏期研修会について

地区青少年対策・LEO・LS委員長 L. 鈴木利一

地区レオクラブ夏期研修会は、8月23日より25日迄、2泊3日の日程で船橋市立一宮少年自然の家に於いて開催いたしました。地区内、銚子、富津、君津、館山4つのクラブ62名が参加、研修会のテーマ「自然に親しむことの喜びを味わい、共同生活することにより友愛と協調の精神を養い、新しい経験と創意工夫の機会を得て新しい友えが生まれ、美しい友情が生まれる。よってレオ会員の人間形成に寄与する」と題して予定の日程を無事終了、所期の目的を達成いたしました。

今回の研修会は計画から準備と実行まで期間がなく、参加会員には満足のいかない事が多々あったように感じられた。しかし、皆よくがんばってくれた。来期の研修

会は、十分なる準備と期間を費やして、明日をにう青少年を健全育成するための機関としたいと考えます。





We Serve



市原南ライオネスクラブの 誕生を願みて

市原南ライオンズクラブ
幹事 L 御園生 孝

市原南ライオネスクラブは地区11番目のLSとして、去る4月30日の結成式及び6月19日のチャーターナイトを夫々無事終了し、明るい希望を胸に新年度を迎えました。

顧みまして、同LSの誕生に至るまでの経過を辿りますと、スポンサークラブの市原南LCに於いては昨年度、地区ガバナーの運営方針の一つでありましたネスクラブの結成に向けて意欲的に取り組み、昨秋準備委員会を発足、会長を委員長とし、各地域毎に選抜したLをもって委員を構成し、各委員が夫々の地域より推薦者を挙げ、数次に亘る委員会の検討を経て、21名のチャーターメンバーを確定し、本年4月1日、認証申請に及びました。

冒頭のとおり、結成式及びチャーターナイトには、夫々地区ガバナー、キャビネット役員及びブラザークラブ、

シスタークラブの各位が多数臨席され、厳粛の中にもLS誕生に相応しい温かいムードに終始した、印象深い式典及びパーティでありました。

尚、記念ACTとして南総運動公園に植樹（記念碑共70万円）及び、社会福祉法人昭和村へ金一封（10万円）を寄贈。



◀前地区ガバナー
L 手塚 勇より
長峰LS会長へ
認証状伝達

市原南ライオネス
クラブチャーター
メンバー21名



We Serve

ACT NEWS

A C T 報 告

千葉LC

1. 7月13日当クラブの納涼例会の席上、千葉県知事沼田氏を念願かなって名誉会員として、お迎えすることができました。当日は会員及び家族が多数参加のなか

和やかな雰囲気の中で式がおこなわれ、写真①は推薦者のL吉原鉄治より胸にライオンズクラブのバッジをつけてもらっている沼田知事です。

We Serve

2. やはり当日アイオア・メーソンシティのヌーンLCより千葉市内の家庭へ派遣されて来日中のミス・マーニーオルソン嬢を納涼例会へ招待、楽しい一夜でした。当クラブよりの記念品としてバナー、パッチの他、日本人形を贈りました。写真②は会長L椎名とマーニーさんです。



①
L吉原よりパッチをつけてもらっている沼田知事



②
L椎名会長とマーニー嬢

松戸中央LC

社会福祉委員会継続事業

7月10日(日)、10月の身障者招待に向けて、6月5日植え付けた、さつまいもの第1回手入れを実施。

除草や施肥とさく切りと、慣れない作業に取り組み一致協力。秋の皆さんの喜ぶ顔を想いながら、なごやかな内に、無事、作業を終了した。



さつまいも手入れ作業



千葉京葉LC

献血ACT報告

7月21日、午前9時30分～午後4時30分、於JR千葉駅前。1989年4月15日に行うLC20周年、LSC10周年行事の一環として例会振替でLC、LSC合同ACTとして実施。千葉市長の出席を頂き、献血の重要さと、協力を呼びかけ大いに成果がありました。

今回は、回数を重ねた献血者に感謝状と菓子を添えてさし上げました。ちなみに10回以上23名、5回以上30名、77回の記録保持者もいて、予想以上に献血回数が多い人が集まったようです。

献血受付126名、不適格19名、採血量25,200cc (200cc 88名、400cc 19名)
献血費用¥210,000、(記念ボールペン、感謝状、水羊かん、横断幕、看板その他 労力ACT32名、192時間)



下総中山LC

第11回わんぱく相撲大会

昭和63年7月24日(日)、於 小栗原児童遊園

金銭ACT ¥586,755.

労力 27名×8時=216時間



熱戦の一コマ

女の子もハッスル!





We Serve

CABNEWS

写真右
県警本部長を表敬訪問
するし小泉 昭 ガバナー



写真左
沼田県知事を表敬訪問
するし小泉 昭 ガバナー



We Serve

国際大会スナップ



デンバー バレード



中央 小川第2副会長



国際交流レセプション
ツインガバナー(カナダ)



地区年次大会 ガバナーエレクト入場



国際本部事務所



向って右 相沢春吉国際理事



333複合地区 A・B・C各地区ガバナー



国際会長室にて



向って右から2人目 Jemings 国際会長



We Serve

333 複合地区 ニュース

相沢国際理事誕生へ

ライオンズクラブ国際協会

333-B地区前ガバナー **L.大平一巳**

こんなにドラマチックなことがあるのか。私自身が本当だろうか迷ったからである。

「永野陸夫国際理事候補死す」6月23日、ライオンズ関係者のところを電撃的に伝わった。スチーブソン国際会長はデンバーでの国際大会のために現地入りした、その理事会に第一報がもたらされたのである。

相沢L国際理事会の推せん

「相沢L、大至急デンバーにこられたし」

6月25日、日本を発った相沢Lが永野Lの後釜になると言う保証はなかった。

国際理事会は、日本からの国際理事を欠員にするわけにはゆかない。

「準地区大会、複合地区大会で推せんを決議され(89~91)ガバナー並に複合地区議長によって推せん状が、シカゴ本部に届いている333複合地区相沢春吉L(新潟セントラルLC)は国際理事候補者として(88~90)適当である。国際理事会は同候補を推せんする」

こうして、相沢Lは国際理事会候補者として立候補することが決定した。

友情はすばらしいものだ

28日デンバーに到着、ホテル・ハイヤットに着いたのは17時過。

「大平ガバナー、待ってたよ。私の推せん人になってくれ。29日のコーカスと一緒に出てくれ、30日のマックニコルス・マリナーでの大会本会議で推せん演説をしてくれ」

矢継早の注文が舞い込んできた。333-A地区斉藤ガバナーは、6月16日入院、C地区手塚ガバナーは入院中と、当地区を代表するのは私一人であった。

「何としても、立派に国際理事を誕生させなければ。2人のガバナーの分まで頑張ろう」と、武者振りをしたのは申すまでもない。

しかし、私が到着するまでに蔭で奮闘してくれたライオンがいた。332-C地区菊地ガバナーだった。投票立会人にも心良くなってくれた。

「何でもお手伝いします。永野Lの替わりですから、ライオンズの同志として、申付けて下さい」

ライオンズの友情と云うのは、こんなに素晴らしいものだと思つづく思つたことはない。

堂々とパレードをする

29日、デンバーの市内のパレードは、相沢候補夫妻、私達夫婦、A・B・Cガバナーエレクト夫妻しかいない。相沢候補には現地作成のタスキとブラカード1枚しかないのです。その上333からの応援部隊は0。332複合(東北)の永野候補応援団と各地のガバナーが協力してくれたのです。涙が出る程嬉しかった。デンバーでの数日の道程を手を振りながら、正に感無量のものがあつた。

本会議場で演説

30日の推せん演説、相沢候補の所信表明も2分と云う制約の中で満点に近い出来だったと思う。数万の観衆を前にして、スピーチの出来た事は、吾が生涯の最良の日であった。

レセプションの隅で泣く

その夜、ジャパン・ナイトがハイヤットホテルで開かれた。332が設営した舞台は、そのまま333の晴れのセレモニーの場となった。800人のお客様が訪問してくれた。酒のコーナーは長蛇の列。華やかな会場の隅で泣くライオン。それは332の元ガバナーだった。本来なら永野Lの意気揚々とした舞台姿に、喜びの涙を流すはずだったが、運命は紙一重と云う、どん底の中でハンカチを当て、いたのが忘れられない。

9日間で国際理事誕生

7月1日夜、故永野L追悼の夕べが行われた。小川第3副会長、谷川元国際理事等が駆けつけ、思い出を語ったが、集まった332のメンバーの「残念」の悲しみはぬぐい去ることは出来ない。

相沢Lと私は唯々、御辞儀をするだけだった。

「私達は幸運の一語に盡きます。皆様のお蔭で国際理事になれます。ありがとう御座います。」

頭を下げながら、332の方々が、8年間に及ぶ国際理事推せん努力と活躍、労力と費用。それに比べて333は運動らしきものをせずに9日間で国際理事を誕生させてしまった。

87年8月3日、A地区キャビネット会議で、「相沢春吉国際理事候補推せん」決議がなされ、B・C地区も決定、5月の年次大会、複合地区大会での決議はあつたにせよ、話しが出て11ヵ月、誠に劇的な「国際理事相沢春吉L」の誕生と云わざるをえません。

333-A・B・C地区15000余名のメンバーは、相沢国際理事を強力に支援し、ライオンズムの発展は勿論、当地区も最初の国際理事に、アドバイス、情報の伝達、諸問題の解決、そして地区内の悩み、苦情など卒直に話し合える体制を整えたいものである。

(職名は7月1日現在)

〔追伸〕

- (1)6月12日、故永野陸夫国際理事候補告別式は宮城県古川市で行われ、相沢国際理事、中山前複合議長、大平B地区前ガバナー、関谷A地区前CAB会計が出席した。
- (2)7月31日行われた333複合地区ガバナー協議会で「相沢国際理事選出に当って、332複合地区の協力に感謝する」決議が全員一致で可決された。
- (3)8月28日、332複合地区ガバナー協議会が、青森県八戸市で行われ、相沢国際理事、手塚複合地区議長、登坂A地区ガバナー、大平B地区前ガバナーが、協力御礼のため出席。

謹んで冥福をお祈り申し上げます

敬 弔

千葉LC
故L. 宮本 一雄
(1988. 7. 12)



栗源LC
故L. 八代重雄
(1988. 5. 16)

皆様の投稿をお待ちしております私たちまでご連絡ください



1R野口清治(柏グリーン)
TEL 0471-63-1009
FAX 0471-63-1097



2R滝口政雄(船橋)
TEL 0474-31-4022
FAX 0474-31-9582



3R中村可夫(千葉若潮)
TEL 0436-41-7686
FAX 0436-43-3588



4R小林利弘(佐原)
TEL 0478-52-4645
FAX 0478-55-1786



5R田中秀夫(木更津中央)
TEL 0438-22-4566
FAX 0438-23-5327



6R片岡 和(房総勝浦)
TEL 0470-73-0038



7R東條安夫(上総一宮)
TEL 0475-44-1215
FAX 0475-44-1216

編集後記

夏の初めに第一回編集会議を開いて、朱を入れたら——今はもう秋。今号は必要な事項で苦労もなくページ数も満ばい。ガバナーより愛をこめて「高めよう、心豊かに、L字の誇り」をご提示いただき、又本年度指針の一つとして「話し合いの強調、を訴えておられます。これは従来のクラブ運営、事業のマンネリ化を排除し「クラブの活性化に意を注いで欲しい」と「ガバナー対談」として次号より地区ニュースにその一端を掲載いたします。

1号は誤字、脱字、校正の見落とし等、編集委員一年生らしさが目だつばかり。ご寛容で乞うご期待。

PR情報委員長
L. 小石 税

地区PR情報委員長 L. 小石 税(船橋ポート)
TEL0474-34-8835 FAX0474-22-8835
地区ニュース編集委員 L. 川尻誠一(船橋ポート)
TEL0474-33-3828 FAX0474-33-3868
地区ニュース編集委員 L. 鈴木正興(船橋ポート)
TEL0474-31-9166 FAX0474-33-6232
地区ニュース編集委員 L. 富士原勇(船橋ポート)
TEL0472-47-4333 FAX0472-44-9339

1988年(昭和63年)9月12日 印刷
1988年(昭和63年)9月15日 発行
発行所 千葉市問屋町1の55 シーオービル6F
ライオンズ国際協会333-C地区
キャビネット事務局
印刷所 船橋市高瀬町32番地
(株)総合印刷 新報社
電話 0474-31-9166